

# あゆみ

Vol.54

平成31年 3月22日



表紙写真 「ムササビ」(牧の池どうぶつ病院 鈴木克弥先生)

まだ眼の開いていない体重 100g の赤ちゃんが保護されて当院で引き受けました。当初は2時間おきの授乳や排泄の世話。飼育方法は手探りで動物園や専門家に相談しながら離乳食から自然の木の葉なども食べられるようになり最終的には 1600g まで発育しました。ムササビ観察の専門家立会いの下、飼育していた巣箱ごと野生に放獣できました。気持ちよさそうに滑空する姿を観た時は胸が熱くなりました。

表紙題字 故 芝田 松太郎 氏  
(名古屋市獣医師会 元会長)

# あゆみ Vol.54

|   |                   |
|---|-------------------|
| 巻 頭 言 狂犬病予防集合注射会場の事務委託に向けて(集合注射の安定的継続を目指して) |                   |
| (公社)名古屋市獣医師会会長 荻 曾 敏 之                      | 1                 |
| 平成30年度 公益社団法人名古屋市獣医師会 理事                    | 3                 |
| 平成30年度 狂犬病予防集合注射                            | 集合注射対策委員会 4       |
| 平成30年度 学校飼育動物委員会活動実績                        | 学校飼育動物委員会 5       |
| 平成29年度 夜間動物緊急診療所報告                          | 夜間診療所委員会 9        |
| 平成30年度 学術委員活動報告                             | 学術委員会 11          |
| 平成30年度 学術奨励金事業                              | 学術委員会 12          |
| 平成30年度 定期購読雑誌・書籍                            | 学術委員会 12          |
| 平成30年度 学術セミナー                               | 学術委員会 13          |
| 平成29年度 人獣共通感染症調査事業報告                        | 学術委員会 15          |
| 平成29年度 傷病野生鳥獣保護活動集計                         | 学術委員会 22          |
| 平成29年度 テレフォンドクター集計結果報告書                     | 動物愛護事業委員会 23      |
| 平成30年度 長寿猫飼主表彰式 長寿猫写真展                      | 動物愛護事業委員会 28      |
| 平成30年度 東山動物園の長寿動物への好物寄贈                     | 動物愛護事業委員会 29      |
| 平成30年度 絵本寄贈                                 | 動物愛護事業委員会 30      |
| 動物フェスティバル2018なごや                            | 動物フェスティバル実行委員会 31 |
| 平成29年度 公益社団法人名古屋市獣医師会 動物看護師認定試験             | 動物看護師認定委員会 32     |
| 平成30年度 名古屋動物看護学院 報告                         | 動物看護師養成事業委員会 32   |
| 平成30年度 社会福祉法人 中部盲導犬協会への寄付                   | 32                |
| 平成30年度 交流会①                                 | 総務 33             |
| 平成30年度 交流会②                                 | 福祉厚生委員会 34        |
| 会員寄稿  |                   |
| ドアが開かない。                                    | 小 島 健 治 35        |
| 伝説の男  | 三 浦 隆 37          |
| 平成30年度 名古屋市獣医師会行事                           | 40                |
| 退会者報告                                       | 40                |
| 物故者追悼                                       | 40                |
| 協賛広告  | 41                |
| 編集後記  | 48                |

## 巻頭言

# 狂犬病予防集合注射会場の事務委託に向けて (集合注射の安定的継続を目指して)

公益社団法人 名古屋市獣医師会  
会長 荻曾敏之

名古屋市獣医師会は、狂犬病予防法に基づきその創立以来継続して名古屋市と協働で狂犬病予防集合注射を実施してきました。その間には、約30年近く前に病院注射の頭数が集合注射を上回るようになり、その後もその傾向は続き現在は全体の約20%程度の飼犬が集合注射会場を利用している状況です。これらの流れを受け他の政令市では集合注射を廃止しすべて病院注射に移行している都市が多くなっています。

しかしながら、この狂犬病予防という国家防疫活動に行政職が全く係わらない状況が続けば、昨今の豚コレラや口蹄疫のように将来不幸にも国内に狂犬病が侵入したとき、予防法に従いその緊急対応、対処が可能か甚だ不安を覚えてしまいます。その意味でも毎年度行政主催、職員参加の集合注射を実施することで発生時の対応をスムーズに行えるよう備えることは極めて重要なことと考えます。また同時に集合注射は、市全域で実施することで予防接種率の向上のための啓蒙活動となり、多くの利用者がいる以上地域ごとの市民サービスとしても不可欠な事業と考えます。さらに本会としては、平成23年公益社団移行時に集合注射事業は公益目的事業として認定を受け、同じ公益事業の中でも動物愛護や学術事業よりも国民の命に直接係わる最優先根幹事業であると認識され引き続き実施していくべきと考えます。

今後も安定的に集合注射を継続していくために、平成28年10月スタートの会員病院での鑑札済票交付委託に続き、集合注射会場での交付についても名古屋市より委託を受け、この平成31年4月から東区、中区、昭和区、熱田区の4区で、そして

3年かけて16全区、全会場で獣医師会が注射事務を請け負う形に移行していく計画です。この移行で保健センターの職員は、主催者としての会場確保、会場総合管理に専念し注射事務やその後のデータ入力に係わる業務を削減することで負担を軽減できることになり、また会員にとっては、毎回のように頭数が減少しそれに合わせて手当も補正される中、出勤日数は変わらず長時間の拘束が続いていた現状から、会員が病院を休診にしなくても出勤できるように午後からの2会場開催を柱とし、事前の保健センター立ち寄りや集金業務等の雑務をなくすことで本来の注射実施に係わる業務だけに専従できるようになると考えます。

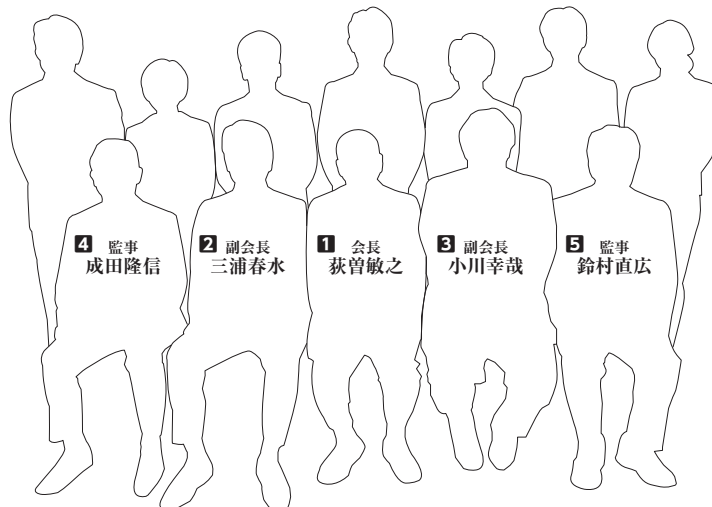
最後に名古屋市獣医師会としては、今後も狂犬病予防事業の適正実施に向けて、現状の集合注射と病院注射の併用方針を継続堅持し、狂犬病予防接種率のさらなる向上を目指し、国家防疫に貢献することこそ公益社団法人に課せられた最大の責務と考えられ、引き続き会員各位の本事業へのご協力をいただき安定的に継続実施していくべきと考えます。

# 平成30年度 公益社団法人名古屋市獣医師会 理事



平成29年5月28日 ローズコートホテルにて撮影

- 6** 理事 鷺塚 章   
 **7** 理事 柴田恵美子   
 **8** 理事 岡田 茂   
 **9** 理事 菅沼英人   
 **10** 理事 保田恭志   
 **11** 理事 山岡新生   
 **12** 理事 夏目里枝子



## 【担当委員会】

- 1** 狂犬病予防委員会/獣医療過誤対応/倫理委員会/制度調査委員会  
**2** 情報公開(獣医事)/総務/会館運営委員会   
 **3** 会計   
 **4** なし   
 **5** なし   
 **6** 夜間診療所委員会  
**7** 学校飼育動物委員会/福祉厚生委員会   
 **8** 動物愛護事業委員会  
**9** 会誌委員会/ホームページ委員会/情報公開(新規)   
 **10** 動フェ実行委員会/集合注射対策委員会  
**11** 学術委員会   
 **12** 動物看護師養成事業委員会/動物看護師認定委員会

# 平成30年度 狂犬病予防集合注射

集合注射対策委員会

## ■平成30年度狂犬病予防集合注射実施結果

### 1. 期間

平成30年4月9日～4月27日

延日数 104日(203会場)

出勤獣医師延人数 225人

### 2. 実施頭数(会員報告をもとに事務局集計)

| 区  | H30注射頭数 | H29注射頭数 | 前年度比頭数 |
|----|---------|---------|--------|
| 千種 | 1,105   | 1,121   | -16    |
| 東  | 493     | 527     | -34    |
| 北  | 1,324   | 1,420   | -96    |
| 西  | 1,017   | 1,138   | -121   |
| 中村 | 1,084   | 1,145   | -61    |
| 中  | 500     | 538     | -38    |
| 昭和 | 471     | 595     | -124   |
| 瑞穂 | 695     | 779     | -84    |
| 熱田 | 451     | 469     | -18    |
| 中川 | 1,785   | 1,891   | -106   |
| 港  | 1,473   | 1,539   | -66    |
| 南  | 1,353   | 1,453   | -100   |
| 守山 | 1,175   | 1,182   | -7     |
| 緑  | 1,794   | 1,948   | -154   |
| 名東 | 871     | 959     | -88    |
| 天白 | 881     | 990     | -109   |
| 計  | 16,472  | 17,694  | -1,222 |



# 平成30年度 学校飼育動物委員会活動実績

## 学校飼育動物委員会

名古屋市獣医師会が飼育動物を通じて小学校の支援を始めて10年が経ちました。委員会の立ち上げには苦勞がありました。獣医師が社会に貢献できる良い機会であると思われ委員の方々と形作ってきました。その間に時代は変化し、小学校では飼育動物が減少していきました。その背景には日本の少子化、情報技術の発達、教師の労働時間など色々な問題があります。デジタル技術の発達は子どもを携帯やゲームに夢中にさせ、AIの内蔵された生きた動物そっくりなロボットが安価に購入できる段階まで至っています。また、教員は労働基準監督局の指導遵守のために飼育を諦めるまでに至っています。

その状況の中で私達は、動物が子どもの教育に生かせることを理解しておられる限られた学校を大切に支援を続けています。これらの事業は会員の方々の尽力あって成り立つものであり、深く感謝しています。

### 1. 動物ふれあい教室（生活科授業） 7回（5校）

| 年月日         | 小学校        | 児童        |
|-------------|------------|-----------|
| 2018.6.5    | 柳小学校(中村区)  | 1年生(2クラス) |
| 2018.6      | 御園小学校(中区)  | 1年生(1クラス) |
| 2018.10.1,2 | 荒子小学校(中川区) | 1年生(6クラス) |
| 2018.10.10  | 大手小学校(港区)  | 1年生(3クラス) |
| 2018.10.17  | 山吹小学校(東区)  | 1年生(4クラス) |
| 2018.10     | 御園小学校(中区)  | 1年生(1クラス) |



### ・柳小学校1年生「動物ふれあい教室」開催

2018年6月5日、中村区・柳小学校にて1年生2クラス48名の生活科授業において、うさぎの「動物ふれあい教室」を行いました。担任の先生は他校からこういう獣医師会の活動があることを聞いて、是非やってみたくて申し込まれました。児童数も少ない学校で子どもたちはしっかりうさぎとふれあうことができましたようです。この体験が心の教育を含め、いろんな学習のヒントとなればいいと思います。

### ・荒子小学校「動物ふれあい教室」開催

2018年10月1日、2日中川区・荒子小学校において、1年生169名の生活科授業「動物ふれあい教室」を開催しました。6クラスもある大きな小学校で子どもたちは本当に元気です。うさぎを恐る恐る抱っこして、みんな楽しそうでした。支援学級の子どもも参加しました。



### ・大手小学校「動物ふれあい教室」開催

2018年10月10日、港区・大手小学校にて1年生69名(3クラス)の動物ふれあい教室を開催しました。うさぎの説明を聞いた後、体育館で6班に別れ、うさぎに触れたり、抱っこしたりしてその観察を教師からもらった記録ノートに書いていました。どんな勉強になったのでしょうか。

うさぎを運搬する時、高学年もうさぎが来たらいいなあ、と羨ましそうでした。やっぱり、子どもたちは動物がそばにいて欲しいのですね。



### ・山吹小学校「動物ふれあい教室」開催

2018年10月17日、東区・山吹小学校において、1年生98名(4クラス)の「動物ふれあい教室」を開催しました。この小学校は環境がよい為、最近の社会事情に珍しく年々子どもの数が増えています。獣医師会は他の小学校から7頭のうさぎをお借りして、獣医師、動物看護師9名で伺いました。

体育館の中は和気あいあいのやさしい雰囲気になって、楽しく活動をしてきました。山吹小学校のうさぎのせいちゃんも元気でした。こんな活動を通じてたくさんの児童が飼育小屋に通ってくれるとうれしいです。

## 2. 飼育指導 8校

| 指導校        | 飼育動物 | 指導獣医師 | 指導校        | 飼育動物 | 指導獣医師 |
|------------|------|-------|------------|------|-------|
| 豊治小学校(中川区) | うさぎ  | 柴田    | 名城小学校(中区)  | うさぎ  | 後藤    |
| 八熊小学校(中川区) | うさぎ  | 福田    | 山吹小学校(東区)  | うさぎ  | 小島健治  |
| 明倫小学校(東区)  | うさぎ  | 水野(雅) | 広路小学校(昭和区) | うさぎ  | 松波    |
| 小碓小学校(港区)  | うさぎ  | 滝本    | 南陵小学校(緑区)  | うさぎ  | 森島    |

## 3. トワイライトスクール「動物ふれあい教室」(中川区・荒子学区)

| 年月日     | 内容       | テーマ              | 場所           |
|---------|----------|------------------|--------------|
| 2018.4  | 動物ふれあい教室 | 「動物の体のしくみ」       | 荒子トワイライトスクール |
| 2018.6  | 動物ふれあい教室 | 「猫の気持ち」          | 荒子トワイライトスクール |
| 2018.8  | 動物ふれあい教室 | 「『障害』って何？」       | 荒子トワイライトスクール |
| 2018.10 | 動物ふれあい教室 | 「うさぎと仲良くなろう」     | 荒子トワイライトスクール |
| 2018.12 | 動物ふれあい教室 | 「動物病院って、どんなところ？」 | 荒子トワイライトスクール |
| 2019.2  | 動物ふれあい教室 | 「犬と英語」           | 荒子トワイライトスクール |

## 4. 市民公開講座(愛知県獣医師会共催) 教員対象の動物介在教育

「学校飼育で育つ子どもたち」

日 時：2018年7月26日(木)

場 所：ウィンクあいち会議室

講 師：松本謙一先生(金沢大学大学院教職実践研究科教授)

「学校飼育で育つ子どもたち 生活科1年 みんななかよし ひよこ」

青木 創先生(公益社団法人・愛知県獣医師会)

「学校飼育のこつ」

2018年7月26日(木)午後1時半からウィンクあいち会議室にて、愛知県獣医師会共催の学校教員向け市民公開講座を行いました。今回の講師は学校飼育のこつの松本謙一先生でした。「動物飼育で育つ子どもたち」を講演されました。松本先生は日本のマイケル・サンデルと思われるような参加型セミナーを展開され、誰もが楽しめる講義でした。聴衆を巻き込んで、グループワークをしたり、巧みなジョークで聴衆を沸かせて、寝ている暇はありませんでした。名古屋市教育委員会指導室からも数人が参加され、学校の先生方は講演に満足して帰られていた様子です。



## 5. 学校負傷動物治療

| 年月日        | 小学校          | 診療動物  | 病状        |
|------------|--------------|-------|-----------|
| 2017.4.20  | はとり幼稚園(中川区)  | うさぎ   | 衰弱 内科治療   |
| 2017.6.16  | 大手小学校(港区)    | うさぎ   | 斜頸        |
| 2017.6.27  | 小碓小学校(港区)    | うさぎ   | 炭酸カルシウム尿症 |
| 2017.8.12  | 第一幼稚園(東区)    | うさぎ   | 食欲不振      |
| 2017.8.24  | 愛教大付属小学校(東区) | うさぎ   | 健診2頭      |
| 2017.12.25 | 愛教大付属小学校(東区) | うさぎ   | 急死        |
| 2018.1.10  | 大手小学校(港区)    | うさぎ   | 老衰        |
| 2018.3.12  | 鳴海ヶ丘幼稚園(緑区)  | うさぎ   | 腫瘍        |
| 2018.3.22  | 荒子幼稚園(中川区)   | うさぎ   | アブセス      |
| 2018.3.27  | 岩塚小学校(中川区)   | モルモット | 皮膚炎       |
| 2018.3.30  | 船方小学校(熱田区)   | うさぎ   | 子宮疾患      |

## 6. うさぎの譲渡

神の倉幼稚園にうさぎを贈りました。

緑区・神の倉幼稚園は、動物を通じて子どもたちの情操教育に取り組まれています。以前に飼っていたみるくちゃんが亡くなってしまい、新たに2ヶ月のオスのうさぎをお分けしました。検診、馴化した茶色の長毛種です。園長先生自ら引き取りに来られ、頼もしい園ですね。



2018年度は6校にうさぎを譲渡しました。

- 西山台幼稚園(名東区) 1頭
- 万場小学校(中川区) 1頭(児童飼育委員会に飼育指導実施)
- 明倫小学校(東区) 2頭(児童飼育委員会に飼育指導実施)
- 荒子小学校(中川区) 1頭(児童飼育委員会に飼育指導実施)
- 神の倉幼稚園(緑区) 1頭
- 八社小学校(中川区) 1頭(児童飼育委員会に飼育指導実施)

全7頭



# 平成29年度 夜間動物緊急診療所報告

夜間診療所委員会

夜間動物緊急診療所は開設から14年目を迎えました。手塚主任を中心にスタッフ一同努力を重ねてまいりましたが、お陰さまで順調に業績を上げてまいりました。スタッフ教育の充実に力を入れてきたこともあり、多くの若手獣医師が救急医療に興味を示していただき、長年苦しんできた勤務獣医師の不足は解消されました。しかし、この発展がバブルで終わることなく継続して地域の救急獣医療の発展に貢献できるようさらなる努力を重ねてまいります。

今後ともご指導よろしくお願ひ申し上げます。

## 公益社団法人名古屋市獣医師会夜間動物緊急診療所における 平成29年度(平成29年4月1日～平成30年3月31日)の来院状況集計

総来院件数 3207

表1. 動物種の内訳 (頭)

|        |       |      |
|--------|-------|------|
| 犬      | 小型犬   | 1622 |
|        | 中型犬   | 303  |
|        | 大型犬   | 93   |
|        | 合計    | 2018 |
| 猫      |       | 776  |
| エキゾチック | ウサギ   | 230  |
|        | ハムスター | 42   |
|        | 鳥類    | 54   |
|        | フェレット | 34   |
|        | その他   | 52   |
|        | 合計    | 412  |

表2. 年齢層の内訳 (頭)

|   |      |      |
|---|------|------|
| 犬 | 1歳未満 | 251  |
|   | 1～4歳 | 437  |
|   | 5～8歳 | 364  |
|   | 9歳以上 | 963  |
|   | 年齢不詳 | 3    |
|   | 合計   | 2018 |
| 猫 | 1歳未満 | 182  |
|   | 1～4歳 | 212  |
|   | 5～8歳 | 131  |
|   | 9歳以上 | 240  |
|   | 年齢不詳 | 11   |
|   | 合計   | 776  |

表3. 疾病分類 (頭)

|        |     |
|--------|-----|
| 消化器系   | 925 |
| 神経系    | 336 |
| 筋骨格系   | 306 |
| 不定愁訴   | 179 |
| 泌尿生殖器系 | 378 |
| 皮膚科    | 221 |
| 呼吸器系   | 187 |
| 緊急疾患   | 197 |
| 眼科     | 77  |
| 中毒     | 158 |
| 代謝疾患   | 15  |
| 免疫系    | 20  |
| 循環器系   | 87  |
| 内分泌系   | 13  |
| 感染症    | 26  |
| 血液疾患   | 16  |
| 腫瘍     | 36  |
| その他    | 29  |

表4. 曜日毎来院数の内訳 (頭)

|   |     |
|---|-----|
| 月 | 460 |
| 火 | 413 |
| 水 | 424 |
| 木 | 476 |
| 金 | 419 |
| 土 | 467 |
| 日 | 547 |

表5. 曜日毎平均来院数の内訳 (頭)

|    |      |
|----|------|
| 月  | 8.8  |
| 火  | 7.9  |
| 水  | 8.2  |
| 木  | 9.2  |
| 金  | 8.1  |
| 土  | 9.0  |
| 日  | 10.5 |
| 平均 | 8.8  |

表6. 月毎の来院件数 (頭)

|         |     |
|---------|-----|
| 2017. 4 | 247 |
| 2017. 5 | 290 |
| 2017. 6 | 313 |
| 2017. 7 | 294 |
| 2017. 8 | 294 |
| 2017. 9 | 265 |
| 2017.10 | 284 |
| 2017.11 | 223 |
| 2017.12 | 275 |
| 2018. 1 | 275 |
| 2018. 2 | 200 |
| 2018. 3 | 246 |

表7. 来院時間の内訳 (頭)

|        |     |
|--------|-----|
| 19～20時 | 2   |
| 20～21時 | 138 |
| 21～22時 | 754 |
| 22～23時 | 723 |
| 23～0時  | 692 |
| 0～1時   | 519 |
| 1～2時   | 347 |
| 2時以降   | 31  |

表8. 来院地域の内訳 (頭)

|       |      |
|-------|------|
| 名古屋市内 | 2248 |
| 愛知県   | 1010 |
| 愛知県外  | 176  |

表9. 名古屋市内の来院内訳 (頭)

|     |     |
|-----|-----|
| 昭和区 | 303 |
| 天白区 | 101 |
| 千種区 | 72  |
| 名東区 | 87  |
| 瑞穂区 | 108 |
| 守山区 | 31  |
| 緑区  | 120 |
| 東区  | 83  |
| 北区  | 76  |
| 熱田区 | 110 |
| 西区  | 145 |
| 南区  | 135 |
| 港区  | 166 |
| 中村区 | 183 |
| 中区  | 225 |
| 中川区 | 303 |

表10. 来院患者の内訳 (頭)

|   |      |
|---|------|
| A | 1096 |
| B | 587  |
| C | 334  |
| D | 1189 |

A：名古屋市在住で名古屋市獣医師会会員病院が主治医の患者

B：名古屋市在住で非会員病院が主治医の患者

C：名古屋市在住で特に主治医のいない患者

D：名古屋市内外在住の患者

## 平成30年度 学術委員活動報告

学術委員会

学術委員会では、公衆衛生の向上を目的とした人獣共通感染症調査、傷病野生鳥獣保護事業や獣医師及び獣医療補助者に関する技術や知識の向上を図るための卒後教育セミナーを中心に活動しております。

名古屋市獣医師会所属会員の多くの施設でイヌ、ネコ、エキゾチックアニマルを診療対象としております。これらの動物は飼育数や距離において人間と最も密接な動物であり、人間との相互依存関係も生じて強い絆で結ばれております。安心して動物との生活を送れるよう当会と名古屋市で人獣共通感染症調査を長年にわたり継続し報告を行っております。平成30年度は「名古屋市の飼犬のジフテリア毒素産生性コリネバクテリウムウルセランス保有状況調査」を実施しました。今回の調査に関連しまして、国立感染症研究所バイオセーフティー管理室 山本明彦先生を招聘しセミナーを開催しました。また、近年愛知県下で発生した犬のエキノコッカス感染症に関しまして、会員施設において注意喚起を促すために佐伯英治先生をお招きしてエキノコッカス感染症について講演していただきました。なお、平成29年度「名古屋市中で飼育されている猫の病原性大腸菌保有状況調査」（本誌P.15に掲載）などの過去の調査結果は、名古屋市のホームページ<http://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000025355.html>に掲載されております。

傷病野生鳥獣保護事業も名古屋市から当会へ委託されている事業であります。野生動物の保護や治療も積極的に取り組む姿勢を継続しております(平成29年度の実績は本誌P.22に掲載)。

本年度も前述の人獣共通感染症セミナー以外に、獣医師の卒後教育講習会を開催しました(平成30年度の開催実績は本誌P.13に掲載)。また講習会開催以外にも、獣医師教育の一環として新規教科書や海外学術誌の購入(平成30年度の定期購読雑誌や書籍は本誌P.12に掲載)にも力を入れております。

## 平成30年度 学術奨励金事業

学術委員会

会員の学術・診療技術向上のために、定められた要項に従い補助金を支給した。

平成30年度は、5例の申請があり、5名に支給した。

|   | 会員名(敬称略) | 題名  | 学術研究団体名                     | 発表日        |
|---|----------|---|-----------------------------|------------|
| 1 | 小島健太郎    | Impact of hemoperitoneum on outcomes of splenectomy for canine splenic masses in primary care veterinary hospitals. | アジア獣医麻酔外科学会                 | 2018/12/2  |
| 2 | 柴田恵美子    | 顆粒球肉腫を疑った犬の1例   | 動物臨床医学会                     | 2018/11/18 |
| 3 | 安藤 達彦    | 猫の後肢皮膚欠損に対する軸状皮弁および遊離皮膚移植に多血小板血漿療法を併用した1例   | 動物臨床医学会                     | 2018/11/18 |
| 4 | 河合 美帆    | 猫の慢性腎臓病に対し継続した皮下点滴を行った治療の検討   | JVM<br>獣医畜産新報<br>Vol.71(12) | 2018/12/1  |
| 5 | 内藤 瑛治    | 手術を実施する猫の乳腺腺癌の予後予測因子：特に好中球/リンパ球比の有用性について  | 獣医学術中部地区学会                  | 2018/9/2   |

## 平成30年度 定期購読雑誌・書籍

学術委員会

下記、雑誌・書籍が閲覧可能です。是非、ご利用下さい。

●雑誌

- Journal of American Veterinary Medical Association(米国獣医師会雑誌)  
【Print+電子ジャーナル】雑誌は1976年以降保管、電子ジャーナルは2000年以降ダウンロード可能
- Journal of Feline Medicine and Surgery(猫内科学外科学雑誌)  
【電子ジャーナル】1999年以降ダウンロード可能
- Journal of Small animal practice(小動物臨床雑誌)  
【電子ジャーナル】1997年以降ダウンロード可能
- Journal of Veterinary Emergency and Critical Care(獣医救命救急雑誌)  
【電子ジャーナル】2014年以降ダウンロード可能

●商業誌

- SURGEON
- SA Medicine
- As(アズ)

●新規書籍

- 犬と猫の神経病学総論  
著：長谷川大輔、枝村一弥、齋藤弥代子 出版：緑書房(2015年)
- 犬と猫の麻酔モニタリング  
著：伊丹貴晴 出版：緑書房(2018年)
- BSAVA 犬と猫の毒物ガイド  
著：久和 茂 出版：学窓社(2018年)
- 小動物の治療薬 第2版  
著：桃井康行 出版：文永堂(2012年)

# 平成30年度 学術セミナー

学術委員会

## ■ 名古屋市獣医師会学術セミナー

講師：佐伯英治 先生 (サエキベテリナリー・サイエンス)

「エキノコッカスとは 条虫類の総論から」

日 時 平成30年 5月27日(日) 13:30～15:30

場 所 名古屋市獣医師会館

当日出席 48人



## ■ 名古屋市獣医師会学術セミナー

講師：山本明彦 先生 (国立感染症研究所 バイオセーフティ管理室)

「コロナバクテリウム・ウルセランス感染症  
ー ジフテリア類似の人獣共通感染症 ー」

日 時 平成30年 9月26日(木) 13:30～15:30

場 所 名古屋市獣医師会館

当日出席 29人



## ■ 名獣JARMeCセミナー

講師：坂本 学 先生 (日本動物高度医療センター名古屋 呼吸器科)

「緊急性の高い呼吸器疾患～咽喉・喉頭～」

日 時 平成30年10月17日(木) 21:00～23:00

場 所 名古屋市獣医師会館

当日出席 22人





## ■ 学術セミナー

講師：入交眞巳 先生（日本ヒルズ・コルゲート株式会社 獣医学術部）

「認知症の診断と治療、犬猫の精神薬理学」

日 時 平成30年11月1日(木) 21：00～23：00

場 所 名古屋市獣医師会館

当日出席 76人



## ■ 名獣JARMeCセミナー

講師：坂本 学 先生（日本動物高度医療センター名古屋 呼吸器科）

「緊急性の高い呼吸器疾患～気管・肺～」

日 時 平成30年11月21日(木) 21：00～23：00

場 所 名古屋市獣医師会館

当日出席 23人



## ■ 日小獣学術講習会（名古屋市獣医師会担当）

講師：手島健次 先生（日本大学）

「麻酔管理の基本原則と疾患・手術別のポイント

～麻薬、メドトミジン鎮静、局所麻酔を使いこなす！～」

日 時 平成31年1月20日(日) 13：30～17：00

場 所 名古屋市獣医師会館

当日出席 67人



## 名古屋市で飼育されている猫の糞便中の 病原性大腸菌の保有調査

### 1. はじめに

大腸菌は基本的には非病原性で種々の動物の腸管常在菌であるが、病原性大腸菌と呼ばれる一部の菌株は人や動物に対して病原性を示す。病原性大腸菌は下痢原性大腸菌(腸管内病原性大腸菌)と腸管外病原性大腸菌に大別される。人における腸管出血性大腸菌O157などに代表される下痢原性大腸菌は汚染された水や飲食物を介した経口感染がほとんどであり、家畜の排泄物に汚染された水や食肉などを介して人や動物に食中毒や重症の場合は溶血性尿毒症症候群(HUS)を併発するなどを引き起こす人獣共通感染症として知られている。一方、腸管外病原性大腸菌は非経口的に感染し、人や動物において感染臓器に障害を及ぼすことが知られている。

人の身近な存在である伴侶動物は人獣共通感染症の伝搬に寄与する可能性があるため、伴侶動物において病原性大腸菌の保有状況を知ることは重要である。昨年度、人獣共通感染症調査として名古屋市で飼育されている犬の糞便中の病原性大腸菌の保有調査を行った。結果として、犬112頭のうち下痢原性病原遺伝子は9頭(8.0%)、腸管外病原性遺伝子は83頭(74.1%)が検出され、少なくとも名古屋市の飼い犬は下痢原性大腸菌の人にとって主要なリザーバーではないことが示唆された。一方、伴侶動物として猫の飼育頭数は犬を上回り<sup>1</sup>、同調査の必要性は増している。猫の糞便中に病原性大腸菌を保有していることは分かっているが、下痢を起こしている犬、猫等から分離された病原大腸菌の血清型は、人下痢症の主要な血清型とは異なるという報告<sup>2,3</sup>、あるいは下痢をしている伴侶動物の犬から人の腸管病原性大腸菌が分離されたという報告<sup>4</sup>もあり、伴侶動物と人の関連性については、十分に分かっていない<sup>5,6,7</sup>。

今回、効果的な人獣共通感染症対策に資することを目的に、名古屋市内で飼育されている猫の飼養実態調査とともに、下痢原性大腸菌および腸管外病原性大腸菌の分布状況について調査したので、その公衆衛生上の知見を報告する。

### 2. 材料と方法

#### 2.1. 検体

平成29年10月23日～11月10日までの期間に、名古屋市内の動物病院に来院した猫の直腸スワブ 112検体(各区7検体)を供試した。糞便中の病原性大腸菌検査は、鳥取大学農学部共同獣医学科に検査委託した。

#### 2.2. 大腸菌の分離及び同定

スワブをDHL寒天培地(栄研化学)に塗抹後に一晚培養し、典型的な性状を示す赤色コロニーを採取した。さらに、そのコロニーをクロモアガーオリエンタシオン培地(関東化学)に塗抹後培養し、典型的な性状を示す薄紫色コロニーを採取した。その後、市販の菌種同定キットであるApi20E(シスメックス・ピオメリユー)を用いて、採取した菌株(1菌株/

検体)を大腸菌と同定した。同定後の菌株は10%スキムミルクに浮遊させた後に、-80℃にて保管した。

### 2.3. PCRによる病原性遺伝子の検出

保管しておいた菌株を寒天培地に塗抹し得られたコロニーを3～4個採取した。そのコロニーを滅菌蒸留水に浮遊させ10分間煮沸処理を行った。その後、12000rpmで5分間遠心処理を行い得られた上清をDNAテンプレートとした。

下痢原性病原遺伝子の検出は、Fujiokaらのプロトコール<sup>8</sup>に準拠したマルチプレックスPCRにより行った。合計25μlのPCR混合液とし、その組成には5.0μlのDNAテンプレート、1×ExTaq Buffer、2.0mM MgCl<sub>2</sub>、200μM dNTP、0.25μM *stx1* フォワード/リバープライマー (F/R)、0.20μM *stx2* F/R、0.25μM *eae* F/R、0.25μM *bfpA* F/R、0.20μM *aggR* F/R、0.10μM *elt* F/R、0.20μM *esth* F/R、0.5μM *estp* F/R、0.50μM *invE* F/R、0.25μM *astA* F/R及び1.25 U ExTaq(タカラバイオ)が含有された。PCRの条件は、初期熱変性94℃ 1分の後、熱変性、アニーリングおよび伸長反応をそれぞれ94℃で1分、55℃で1分、72℃で1分を1セットとして35サイクル行い、最終伸張は72℃で10分実施した。全てのPCR産物は、エチジウム・プロマイドを添加した2%アガロースゲルで電気泳動を行い、UVトランスイルミネーターを用いて目的とする遺伝子断片の増幅が確認されたものを陽性と判定した。各プライマーの遺伝子配列および産物の大きさは表1に示した通りである。

表1. 下痢原性病原遺伝子検出用プライマー

| 対象遺伝子       | プライマー名        | 塩基配列 (5'末端から3'末端)          | PCR産物の大きさ (bp) |
|-------------|---------------|----------------------------|----------------|
| <i>stx1</i> | <i>stx1</i> F | AGTTAATGTGGTGGCGAAGG       | 347            |
|             | <i>stx1</i> R | CACCAGACAATGTAACCGC        |                |
| <i>stx2</i> | <i>stx2</i> F | TTCGGTATCCTATTCCTCGG       | 589            |
|             | <i>stx2</i> R | CGTCATCGTATACACAGGAG       |                |
| <i>eae</i>  | <i>eae</i> F  | CCCGAATTCGGCACAAGCATAAGC   | 881            |
|             | <i>eae</i> R  | CCCGGATCCGTCTCGCCAGTATTCCG |                |
| <i>bfpA</i> | <i>bfpA</i> F | AATGGTGCTTGCGCTTGCTGC      | 324            |
|             | <i>bfpA</i> R | GCCGCTTATCCAACCTGGTA       |                |
| <i>aggR</i> | <i>aggR</i> F | GTATACACAAAAGAAGGAAGC      | 254            |
|             | <i>aggR</i> R | ACAGAATCGTCAGCATCAGC       |                |
| <i>elt</i>  | <i>elt</i> F  | AACGTTCCGGAGGTCTTATG       | 511            |
|             | <i>elt</i> R  | CAACCTTGTGGTGCATGATG       |                |
| <i>esth</i> | <i>esth</i> F | TTCACCTTCCCTCAGGATG        | 172            |
|             | <i>esth</i> R | ATAGCACCCGGTACAAGCAG       |                |
| <i>estp</i> | <i>estp</i> F | ACTGAATCACTTGACTCTTCA      | 120            |
|             | <i>estp</i> R | TCACAGCAGTAAATGTGTGTGT     |                |
| <i>invE</i> | <i>invE</i> F | GCAGGAGCAGATCTTGAAG        | 208            |
|             | <i>invE</i> R | GAAAGGCACGAGTGACTTTC       |                |
| <i>astA</i> | <i>astA</i> F | CCATCAACACAGTATATCCG       | 101            |
|             | <i>astA</i> R | ACGGCTTGTAGTCTTCCA         |                |

腸管外病原性遺伝子の検出は、Yamamotoらのプロトコール<sup>9</sup>に準拠したマルチプレックスPCRにより行った。合計25μlのPCR混合液とし、その組成には2.5μlのDNAテンプレート、1×ExTaq Buffer、1.25mM MgCl<sub>2</sub>、250μM dNTP、0.4μM *pap* F/R、0.4μM *sfa* F/R、0.4μM *afa* F/R、0.6μM *hly* F/R、0.4μM *aer* F/R、0.4μM *cnf* F/R及び1.0 U ExTaq(タ

カラバイオ)が含有された。PCRの条件は、初期熱変性94℃ 3分の後、熱変性、アニーリングおよび伸長反応をそれぞれ94℃で1分、63℃で30秒、72℃で3分を1セットとして30サイクル行い、最終伸張は72℃で7分実施した。全てのPCR産物は、エチジウム・プロマイドを添加した2%アガロースゲルで電気泳動を行い、UVトランスイルミネーターを用いて目的とする遺伝子断片の増幅が確認されたものを陽性と判定した。各プライマーの遺伝子配列および産物の大きさは表2に示した通りである。

表2. 腸管外病原性遺伝子検出用プライマー

| 対象遺伝子      | プライマー名 | 塩基配列(5'末端から3'末端)             | PCR産物の大きさ(bp) |
|------------|--------|------------------------------|---------------|
| <i>pap</i> | pap3   | GCAACAGCAACGCTGGTTGCATCAT    | 336           |
|            | pap4   | AGAGAGAGCCACTCTTATACGGACA    |               |
| <i>sfa</i> | sfa1   | CTCCGAGAAGTGGGTGCATCTTAC     | 410           |
|            | sfa2   | CGGAGGAGTAATTACAAACCTGGCA    |               |
| <i>afa</i> | afa1   | GCTGGGCAGCAAAGTACTGATAACTCTC | 750           |
|            | afa2   | CATCAAGCTGTTTGTTCGTCGCCCG    |               |
| <i>hly</i> | hly1   | AACAAGGATAAGCACTGTTCTGGCT    | 1177          |
|            | hly2   | ACCATATAAGCGGTCATTCCCGTCA    |               |
| <i>aer</i> | aer1   | TACCGGATTGTCATATGCAGACCGT    | 602           |
|            | aer2   | AATATCTTCTCCAGTCCGGAGAAG     |               |
| <i>cnf</i> | cnf1   | AAGATGGAGTTTCCTATGCAGGAG     | 498           |
|            | cnf2   | CATTCAGAGTCCTGCCCTCATTATT    |               |

#### 2.4. 調査対象猫の環境調査

調査対象となる猫について、以下の項目の調査を実施した。

##### (1) 飼育動物

- ① 品種(猫種)
- ② 性別：雄 雌 去勢雄 避妊雌
- ③ 年齢
- ④ マイクロチップ：装着 装着無し 不明
- ⑤ ウイルス感染：FeLV(猫白血病ウイルス) FIV(猫免疫不全ウイルス) 陰性  
不明
- ⑥ 混合ワクチン接種歴：接種(1年以内) 接種(3年以内) 未接種 不明
- ⑦ 消化器疾患以外の既往歴
- ⑧ 抗生物質の投与歴：有 無 不明
- ⑨ 現在の食欲：食欲あり 食欲なし
- ⑩ 便の状態：良便 下痢便

##### (2) 飼育状況

- ① 飼育場所：完全室内飼育 室内と屋外を出入り 完全屋外飼育
- ② 食餌内容：ドライフード ウエットフード ドライフードとウエットフード  
その他
- ③ トイレの場所：室内 屋外 室内と屋外
- ④ 同居の動物：犬 猫 犬と猫 その他

##### (3) 飼育者の住居

- ① 住居区
- ② 住居：一戸建 マンション・アパート その他

##### (4) 飼育者と飼育動物との関係(これまで経験のあるものを回答)

- ① 飼育動物に咬まれる：□有 □無
- ② 飼育動物に引っかかる：□有 □無
- ③ 飼育動物と同じ箸やスプーンを使って食事をする、キスをする：□有 □無
- ④ 飼育動物と同じ寝具で眠る：□有 □無

## 2.5. 統計

病原性大腸菌の陽性率に関連する因子の抽出として、陽性群と陰性群に分けて2群間の飼育動物と飼育状況の各調査項目について単変量解析で評価した。各因子は自然区分により2区分変数に変換し、フィッシャーの正確確率検定を行い、 $p < 0.05$ を有意水準とした。

## 3. 結 果

### 3.1. 猫糞便における大腸菌の保有状況

採取された猫直腸スワブ112検体のうち97検体から大腸菌が分離された。

### 3.2. 猫糞便由来大腸菌における下痢原性病原遺伝子の保有状況

下痢原性病原遺伝子の検出結果を表3に記載する。分離された97株の糞便由来大腸菌のうち、*astA*(耐熱性毒素遺伝子)のみを有するその他の病原性大腸菌が6株(6.2%)検出された。

表3. 猫糞便由来大腸菌97株における下痢原性病原遺伝子の保有状況

| EHEC        |             | EPEC       |             | EAggEC      | ETEC       |             |             | EIEC        | Others      |
|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| <i>stx1</i> | <i>stx2</i> | <i>eae</i> | <i>bfpA</i> | <i>aggR</i> | <i>elt</i> | <i>esth</i> | <i>estp</i> | <i>invE</i> | <i>astA</i> |
| 0(0)        | 0(0)        | 0(0)       | 0(0)        | 0(0)        | 0(0)       | 0(0)        | 0(0)        | 0(0)        | 6(6.2)      |

EHEC：腸管出血性大腸菌、EPEC：腸管病原性大腸菌、EAggEC：腸管凝集付着性大腸菌、ETEC：腸管毒素原性大腸菌、EIEC：腸管侵入性大腸菌、Others：他の下痢原性大腸菌

### 3.3. 猫糞便由来大腸菌における腸管外病原性遺伝子の保有状況

腸管外病原性遺伝子の検出結果を表4に記載する。調査対象とした遺伝子のうち、*sfa*(S線毛)が最も多く検出され、95株(97.9%)が保有していた。次いで、*cnf*(細胞毒性壊死因子)が66株(68.0%)に、*pap*(腎盂腎炎関連線毛)が38株(39.2%)に、*aer*(エアロバクチン)が12株(12.4%)に、*hly*(ヘモリシン)が56株(57.7%)に、それぞれ検出された。

表4. 猫糞便由来大腸菌97株における腸管外病原性遺伝子の保有状況

| <i>pap</i> | <i>sfa</i> | <i>afa</i> | <i>hly</i> | <i>aer</i> | <i>cnf</i> |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 38(39.2)   | 95(97.9)   | 0(0)       | 56(57.7)   | 12(12.4)   | 66(68.0)   |

### 3.4. 調査票の集計

#### (1) 飼育動物

- ① 品種：日本猫または雑種98頭、アメリカンショートヘア3頭、ベンガル3頭、ソマリ2頭、アメリカンカール、ラグドール、ブリティッシュショートヘア、メインクーン、スコティッシュフォールド、アビシニアン各1頭であった。
- ② 性別：雄16頭(14.3%)、雌16頭(14.3%)、去勢雄40頭(35.7%)、避妊雌40頭(35.7%)であった。
- ③ 年齢：中央値6.0歳(範囲0.3～20.3歳)であった。
- ④ マイクロチップ：装着8頭(7.1%)、装着無し98頭(87.5%)、不明7頭(5.4%)であった。
- ⑤ ウイルス感染：FeLV(猫白血病ウイルス)2頭(1.8%)、FIV(猫免疫不全ウイルス)

- 1頭(0.9%)、FeLVとFIV 1頭(0.9%)、陰性8頭(7.1%)、不明100頭(89.3%)であった。
- ⑥混合ワクチン接種歴：接種(1年以内)72頭(64.3%)、接種(3年以内)14頭(12.5%)、未接種19頭(16.9%)、不明7頭(6.3%)であった。
- ⑦消化器疾患以外の既往歴：有が50頭(44.6%)でその内訳は慢性腎臓病11頭(うち1頭は膀胱炎併発)、猫伝染性鼻気管炎7頭、皮膚疾患6頭、糖尿病2頭、口内炎2頭、腫瘍2頭、骨折2頭、尿閉塞2頭、外傷2頭、結膜炎、免疫介在性貧血、子宮水腫、疥癬、猫ヘルペスウイルス感染症、尿石症、腎結石、腎結石とマンソン裂頭条虫症、肛門囊炎とマンソン裂頭条虫症、便秘、膀胱炎、心疾患、尿石症、甲状腺機能亢進症が各1頭であった。
- ⑧抗生物質の投与歴：有55頭(49.1%)、無47頭(42.0%)、不明10頭(8.9%)であった。
- ⑨現在の食欲：食欲あり106頭(94.6%)、食欲なし6頭(5.4%)であった。
- ⑩便の状態：良便105頭(93.8%)、下痢便7頭(6.3%)であった。

## (2) 飼育動物

- ①飼育場所：完全室内飼育94頭(83.9%)、室内と屋外を出入り15頭(13.4%)、完全屋外飼育3頭(2.7%)であった。
- ②食餌内容：ドライフード58頭(51.8%)、ウエットフード2頭(1.8%)、ドライフードとウエットフード52頭(46.4%)であった。
- ③トイレの場所：室内99頭(88.4%)、屋外5頭(4.5%)、室内と屋外8頭(7.1%)であった。
- ④同居の動物：犬10頭(8.9%)、猫58頭(51.8%)、犬と猫10頭(8.9%)、その他7頭(6.3%)、無27頭(24.1%)であった。

## (3) 飼育者の住居

- ①住居：一戸建78頭(69.6%)、マンション・アパート34頭(30.4%)であった。

## (4) 飼育者と飼育動物との関係(これまで経験のあるものを回答)

- ①飼育動物に咬まれる：有40頭(35.7%)、無72頭(64.3%)であった。
- ②飼育動物に引っかかる：有60頭(53.6%)、無52頭(46.4%)であった。
- ③飼育動物と同じ箸やスプーンを使って食事をする、キスをする：有18頭(16.1%)、無94頭(83.9%)であった。
- ④飼育動物と同じ寝具で眠る：有69頭(61.6%)、無43頭(38.4%)であった。

### 3.5. 猫糞便由来大腸菌における下痢原性病原遺伝子の保有状況と環境要因

下痢原性病原遺伝子の保有状況と環境要因との関連を表5に示す。下痢原性病原遺伝子の保有状況と環境要因に有意な関連性を認めなかった。

## 4. 考 察

今回、調査した名古屋市の飼育猫においては、分離された97株の大腸菌のうち6株(6.2%)で下痢原性病原遺伝子が検出され、いずれも耐熱性毒素遺伝子(astA)であった。これまで猫の下痢原性大腸菌の保有状況に関する報告は少ないが、東京都の調査では、動物飼養施設において腸管毒素原性大腸菌(ETEC)が44頭中8頭(15.9%)で検出された<sup>5</sup>。今回の結果と比較すると保有率や遺伝子が異なるが、このような傾向の違いの要因として、地域差によるもの(東京都と名古屋市)や調査対象施設(主として動物飼養施設と動物病院)が異なることが考えられる。また、同報告の中では動物飼養施設内(ブリーダーなど)の猫間で下痢原性大腸菌の水平伝播が生じることも併せて報告されているが、今回の調査では84%と多数が室内飼育であるものの同居動物の存在が保有率に影響を示さなかった。このことから、少なくとも室内飼育である伴侶動物の

環境下では水平伝搬の影響はそれほど重要ではないと考えられるが、同時に他の動物との接触がない猫であっても保有する可能性があることを留意すべきであろう。片岡らの報告では、614頭の伴侶動物(犬および猫)の腸管出血性大腸菌(EHEC)の保有状況はStx 1が6頭(1.0%)、Stx 2が3頭(0.5%)であり、このうちO157:H7は1頭(0.2%)しか検出されていない<sup>10</sup>。猫の内訳は不明であるが、伴侶動物における下痢原性大腸菌の保有率は低く、今回の結果からも下痢原性大腸菌の感染源になる可能性が低いことが示唆される。

腸管外病原性遺伝子は分離された97株の糞便由来大腸菌のうちsfa(S線毛)が最も多く検出され、95株(97.9%)が保有していた。次いで、cnf(細胞毒性壊死因子)が66株(68.0%)に、pap(腎盂腎炎関連線毛)が38株(39.2%)に、aer(エアロバクチン)が12株(12.4%)に、hly(ヘモリシン)が56株(57.7%)に、それぞれ検出された。国内の猫30頭において、pil(Type 1 pilus)、pap、hly、cnf、sfa、aer及びの保有率はそれぞれ90%、52%、48%、47%、47%及び10%であったとの報告がある<sup>6</sup>。これは今回の調査結果と比較すると保有率が各遺伝子型で異なるが、腸管外病原性遺伝子を高率に保有するという点で類似している。また、昨年度の名古屋市の飼い犬を対象とした同様の調査では腸管外病原性遺伝子を74.1%が保有していたが<sup>11</sup>、猫では犬と同等以上に腸管外病原性大腸菌を保有する可能性が高いことが今回の調査で示された。飼い猫が保有する腸管外病原性大腸菌が人に伝播し感染症を発症させたことを直接的に証明した報告は現時点では存在しないが、飼い犬と家族間の共有化を証明した報告は少なからず存在している<sup>7,12,13</sup>。そのため、人にとって猫は犬と同様に腸管外病原性大腸菌のリザーバーとして重要であると考えられる。飼育者と飼育動物との関係の調査では猫は犬と比較して「[寝具を共にする経験]を除いてはいずれ過度な接触傾向を示さなかったものの、猫が保有する可能性がある人畜共通感染症としてサルモネラ症、カンピロバクター症、トキソプラズマ症なども重要である<sup>14</sup>。したがって、家庭内での伝播を可能な限り低減させるためにも、日々の家庭内での衛生管理(手指消毒やこまめなトイレの清掃など)だけでなく、同じ寝具で眠るなど動物との過度な接触を避けることを心がけることが推奨される。

表5. 下痢原性病原遺伝子の保有状況と環境要因

| 要 因         | 全体     | 大腸菌検出 | 下痢原性病原遺伝子 |   | <i>p</i> 値 |      |
|-------------|--------|-------|-----------|---|------------|------|
|             |        |       | 陽性数       |   |            |      |
| <b>飼育動物</b> |        |       |           |   |            |      |
| 品 種         | 純血種    | 14    | 11        | 1 | 9.1%       | 0.52 |
|             | 雑種     | 98    | 86        | 5 | 5.8%       |      |
| 性 別         | 雄      | 56    | 47        | 3 | 6.4%       | 1.00 |
|             | 雌      | 56    | 50        | 3 | 6.0%       |      |
| 中性化         | 無      | 32    | 30        | 2 | 6.7%       | 1.00 |
|             | 有      | 80    | 67        | 4 | 6.0%       |      |
| 年 齢         | ≤5歳    | 55    | 51        | 4 | 7.8%       | 0.68 |
|             | >5歳    | 57    | 46        | 2 | 4.3%       |      |
| マイクロチップ     | 無      | 98    | 84        | 5 | 6.0%       | 1.00 |
|             | 有      | 8     | 8         | 0 | 0.0%       |      |
| ワクチン：混合     | 無(>3年) | 19    | 12        | 0 | 0.0%       | 1.00 |
|             | 有      | 86    | 78        | 4 | 5.1%       |      |
| FIV/FeLV感染  | 無      | 8     | 7         | 0 | 0.0%       | —    |
|             | 有      | 4     | 3         | 0 | 0.0%       |      |
| 既往疾患        | 無      | 62    | 56        | 2 | 3.6%       | 0.24 |
|             | 有      | 50    | 41        | 4 | 9.8%       |      |

| 要 因      |       | 全体  | 大腸菌検出 | 下痢原性病原遺伝子 |       | p値   |
|----------|-------|-----|-------|-----------|-------|------|
|          |       |     |       | 陽性数       |       |      |
| 抗生物質の使用歴 | 無     | 47  | 43    | 1         | 2.3%  | 0.36 |
|          | 有     | 55  | 44    | 4         | 9.1%  |      |
| 食 欲      | 無     | 6   | 4     | 0         | 0.0%  | 1.00 |
|          | 有     | 106 | 93    | 6         | 6.5%  |      |
| 下 痢      | 無     | 105 | 92    | 5         | 5.2%  | 0.28 |
|          | 有     | 7   | 5     | 1         | 20.0% |      |
| 飼育状況     |       |     |       |           |       |      |
| 飼育環境     | 完全室内  | 94  | 82    | 6         | 7.3%  | 0.59 |
|          | 他     | 18  | 15    | 0         | 0.0%  |      |
| 食 餌      | 完全ドライ | 58  | 50    | 4         | 8.0%  | 0.68 |
|          | 他     | 54  | 47    | 2         | 4.3%  |      |
| トイレ環境    | 完全室内  | 99  | 87    | 6         | 6.9%  | 1.00 |
|          | 他     | 13  | 10    | 0         | 0.0%  |      |
| 他の同居動物   | 無     | 27  | 22    | 3         | 13.6% | 0.13 |
|          | 有     | 85  | 75    | 3         | 4.0%  |      |

※ 有意水準、 $p < 0.05$

## 5. 参考文献

- [1] 一般社団法人 ペットフード協会. 平成 29 年 (2017 年) 全国犬猫飼育実態調査, 2017.
- [2] Sancak AA, Rutgers HC, Hart CA, Batt RM. Prevalence of enteropathic *Escherichia coli* in dogs with acute and chronic diarrhoea. *Vet Rec.* 24:101-106, 2004.
- [3] Dho-Moulin M1, Fairbrother JM. Avian pathogenic *Escherichia coli* (APEC) . *Vet Res.* 30:299-316, 1999.
- [4] Rodrigues J, Thomazini CM, Lopes CA, Dantas LO. Concurrent infection in a dog and colonization in a child with a human enteropathogenic *Escherichia coli* clone. *J Clin Microbiol.* 42:1388-1389, 2004.
- [5] 畠山薫、奥野ルミ、小西典子、下島優香子、尾畑浩魅、遠藤美代子、柳川義勢. ペット動物における病原大腸菌の保有実態調査. *東京健安研七年報.* 57:77-81, 2006.
- [6] Yuri K, Nakata k, Katae H, Yamamoto S, Hasegawa A. Distribution of uropathogenic virulence factors among *Escherichia coli* strains isolated from dogs and cats. *J Vet Med Sci.* 60:287-290, 1998.
- [7] Harada K, Okada E, Shimizu T, Kataoka Y, Sawada T, Takahashi T. Antimicrobial resistance, virulence profiles, and phylogenetic groups of fecal *Escherichia coli* isolates: A comparative analysis between dogs and their owners in Japan. *Comp Immunol Microbiol Infect Dis.* 35:139-144, 2012.
- [8] Fujioka M, Otomo Y, Ahsan CR. A novel single-step multiplex polymerase chain reaction assay for the detection of diarrheagenic *Escherichia coli*. *J Microbiol Methods.* 92:289-92, 2013.
- [9] Yamamoto S, Terai A, Yuri K, Kurazono H, Takeda Y, Yoshida O. Detection of urovirulence factors in *Escherichia coli* by multiplex polymerase chain reaction. *FEMS Immunol Med Microbiol.* 12:85-90, 1995.
- [10] Kataoka Y, Irie Y, Sawada T, Nakazawa M. A 3-year epidemiological surveillance of *Escherichia coli* O157:H 7 in dogs and cats in Japan. *J Vet Med Sci.* 72:791-4, 2010.
- [11] 名古屋市. 平成 28 年度人獣共通感染症調査報告書 名古屋市で飼育されている犬の糞便中の病原性大腸菌の保有調査, 2017.
- [12] Johnson JR, Clabots C. Sharing of virulent *Escherichia coli* clones among household members of a woman with acute cystitis. *Clin Infect Dis.* 43:e101-108, 2006.
- [13] Bélanger L, Garenaux A, Harel J, Boulianne M, Nadeau E, Dozois CM. *Escherichia coli* from animal reservoirs a potential source of human extraintestinal pathogenic *E. coli*. *FEMS Immunol Med Microbiol.* 62: 1-10, 2011.
- [14] 環境省自然環境局. 人と動物の共通感染症に関するガイドライン, 2007.



# 平成29年度 傷病野生鳥獣保護活動集計

学術委員会

## ■傷病の状況・結果別保護件数

平成29年4月～平成30年3月

|          | 傷病の状況 |    |    |       |    |     | 結果  |    |    |    |    |     |
|----------|-------|----|----|-------|----|-----|-----|----|----|----|----|-----|
|          | 衝突・転落 | 病気 | 骨折 | 咬傷・外傷 | 衰弱 | その他 | 合計  | 放鳥 | 死亡 | 保護 | 不明 | 合計  |
| 平成29年 4月 | 1     |    |    | 2     | 3  |     | 6   | 1  | 5  |    |    | 6   |
| 5月       | 6     |    | 1  | 3     | 3  | 1   | 14  | 2  | 2  |    | 10 | 14  |
| 6月       | 7     | 2  | 2  | 5     | 6  | 2   | 24  | 5  | 8  | 2  | 9  | 24  |
| 7月       | 6     |    | 2  |       | 6  |     | 14  | 6  | 3  |    | 5  | 14  |
| 8月       | 6     |    | 2  |       | 4  |     | 12  | 1  | 1  | 3  | 7  | 12  |
| 9月       | 3     |    | 2  | 2     | 1  |     | 8   | 3  | 2  | 1  | 2  | 8   |
| 10月      |       |    | 3  | 1     | 4  |     | 8   | 1  | 2  |    | 5  | 8   |
| 11月      |       |    | 2  | 1     |    |     | 3   |    |    | 1  | 2  | 3   |
| 12月      |       |    | 1  | 1     | 1  |     | 3   | 1  |    | 1  | 1  | 3   |
| 平成30年 1月 |       |    |    |       |    |     |     |    |    |    |    |     |
| 2月       | 2     | 2  |    | 2     | 3  | 1   | 10  | 3  | 1  | 2  | 4  | 10  |
| 3月       | 1     |    |    | 1     | 2  |     | 4   | 1  | 3  |    |    | 4   |
| 合計       | 32    | 4  | 15 | 18    | 33 | 4   | 106 | 24 | 27 | 10 | 45 | 106 |

## ■種類別保護件数

平成29年4月～平成30年3月

|         | 平成29年 |    |    |    |    |    |     |     |     |    | 平成30年 |    |     | 合計 |
|---------|-------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|-------|----|-----|----|
|         | 4月    | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月    | 3月 |     |    |
| アオバト    |       |    |    |    |    |    | 1   | 1   | 1   |    |       |    | 3   |    |
| イシガメ    |       |    | 1  |    |    |    |     |     |     |    |       |    | 1   |    |
| オオヨシキリ  |       |    | 1  |    |    |    |     |     |     |    |       |    | 1   |    |
| カモ      |       |    | 1  |    |    |    |     |     |     |    |       |    | 1   |    |
| カラス     |       | 8  | 3  | 1  | 2  |    | 1   |     |     |    |       |    | 15  |    |
| カルガモ    |       |    | 1  |    |    |    |     |     |     |    |       |    | 1   |    |
| カワウ     |       |    |    |    |    |    |     |     |     |    |       | 1  | 1   |    |
| カワセミ    |       |    | 1  |    |    |    |     |     |     |    |       |    | 1   |    |
| カワラヒワ   |       |    |    |    | 1  |    |     |     |     |    |       |    | 1   |    |
| キジバト    |       |    |    | 2  |    |    |     |     |     |    | 1     |    | 3   |    |
| コガラ     |       |    |    |    |    |    | 2   |     |     |    |       |    | 2   |    |
| コノハズク   | 1     |    |    | 1  |    |    |     |     |     |    |       |    | 2   |    |
| コミミズク   | 1     |    |    |    |    |    |     |     |     |    |       |    | 1   |    |
| コムクドリ   |       |    |    |    | 1  |    |     |     |     |    |       |    | 1   |    |
| シギ      |       |    |    |    |    |    | 1   |     |     |    |       |    | 1   |    |
| シマセンニュウ |       |    | 1  |    |    |    |     |     |     |    |       |    | 1   |    |
| スズメ     |       | 2  | 6  | 2  | 1  |    | 2   |     |     |    | 1     |    | 14  |    |
| セキレイ    |       |    |    | 1  |    |    |     |     |     |    |       |    | 1   |    |
| タヌキ     |       |    | 1  |    |    |    | 1   |     |     |    |       | 1  | 3   |    |
| ツバメ     |       | 1  | 1  | 3  | 5  |    |     |     |     |    |       | 1  | 11  |    |
| ツミ      |       |    |    |    |    | 1  |     |     |     |    |       |    | 1   |    |
| ドバト     | 4     |    | 3  | 1  | 1  | 4  |     | 1   | 1   |    | 1     | 1  | 17  |    |
| ヒバリ     |       | 1  |    |    |    |    |     |     |     |    |       |    | 1   |    |
| ヒヨドリ    |       |    | 1  | 2  |    | 1  |     |     |     |    | 3     |    | 7   |    |
| フクロウ    |       |    | 1  |    |    |    |     |     |     |    |       |    | 1   |    |
| ミミズク    |       |    |    |    |    |    |     |     |     |    | 1     |    | 1   |    |
| ムクドリ    |       | 1  | 1  |    |    |    |     |     |     |    |       |    | 2   |    |
| ムササビ    |       |    |    |    | 1  |    |     |     |     |    |       |    | 1   |    |
| メジロ     |       |    | 1  |    |    | 2  |     |     |     |    | 3     |    | 6   |    |
| 不明鳥     |       | 1  |    | 1  |    |    |     | 1   | 1   |    |       |    | 4   |    |
| 合計      | 6     | 14 | 24 | 14 | 12 | 8  | 8   | 3   | 3   | 0  | 10    | 4  | 106 |    |

# 平成29年度 テレフンドクター集計結果報告書

動物愛護事業委員会

1. 開設日数 **133** 日

## 2. 動物種別相談件数

|    | 犬  | 猫  | 飼鳥 | 野鳥 | エキゾチック | その他 | 合計  |
|----|----|----|----|----|--------|-----|-----|
| 件数 | 98 | 94 | 4  | 0  | 8      | 2   | 206 |

## 3. エキゾチックアニマルの相談件数

| ウサギ  | ハムスター | リス       | カメ   | モルモット  | フェレット | プレーリードッグ | 金魚    |
|------|-------|----------|------|--------|-------|----------|-------|
| 6    | 1     | 0        | 1    | 0      | 0     | 0        | 0     |
| イグアナ | アライグマ | サル       | リスザル | コウモリ   | モモンガ  | ワラビー     | ハリネズミ |
| 0    | 0     | 0        | 0    | 0      | 0     | 0        | 0     |
| スカンク | イタチ   | ウーパールーパー | カエル  | フクロキツネ | 魚     | カブトムシ    | チンチラ  |
| 0    | 0     | 0        | 0    | 0      | 0     | 0        | 0     |
| タヌキ  | トカゲ   | ヘビ       | ネズミ  | その他    | 不明    | 合計       |       |
| 0    | 0     | 0        | 0    | 0      | 0     | 8        |       |

## 4. 相談者の住所別調査

|        | 名古屋市内 | 県内(市内除く) | 近隣地区 | 遠隔地区 | 不明 | 合計  |
|--------|-------|----------|------|------|----|-----|
| 犬      | 67    | 5        | 0    | 22   | 4  | 98  |
| 猫      | 46    | 5        | 9    | 28   | 6  | 94  |
| 飼鳥     | 2     | 0        | 0    | 2    | 0  | 4   |
| 野鳥     | 0     | 0        | 0    | 0    | 0  | 0   |
| エキゾチック | 7     | 0        | 0    | 1    | 0  | 8   |
| その他    | 0     | 1        | 0    | 0    | 1  | 2   |
| 合計     | 122   | 11       | 9    | 53   | 11 | 206 |

近隣地区…岐阜、三重、静岡、長野、滋賀、福井

## 5. 名古屋市内16区別の相談件数

|        | 千種 | 東  | 北 | 西 | 中村 | 中  | 昭和 | 瑞穂 | 熱田 |
|--------|----|----|---|---|----|----|----|----|----|
| 犬      | 0  | 6  | 4 | 2 | 7  | 13 | 21 | 3  | 1  |
| 猫      | 7  | 4  | 3 | 3 | 2  | 3  | 2  | 3  | 1  |
| 飼鳥     | 0  | 0  | 0 | 0 | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  |
| 野鳥     | 0  | 0  | 0 | 0 | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |
| エキゾチック | 2  | 0  | 0 | 0 | 2  | 1  | 0  | 0  | 0  |
| その他    | 0  | 0  | 0 | 0 | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |
| 合計     | 9  | 10 | 7 | 5 | 11 | 18 | 23 | 6  | 2  |

|        | 中川 | 港 | 南 | 守山 | 緑 | 天白 | 名東 | 不明 | 合計  |
|--------|----|---|---|----|---|----|----|----|-----|
| 犬      | 1  | 1 | 0 | 0  | 2 | 0  | 5  | 1  | 67  |
| 猫      | 5  | 2 | 5 | 0  | 0 | 2  | 4  | 0  | 46  |
| 飼鳥     | 1  | 0 | 0 | 0  | 0 | 0  | 0  | 0  | 2   |
| 野鳥     | 0  | 0 | 0 | 0  | 0 | 0  | 0  | 0  | 0   |
| エキゾチック | 0  | 0 | 0 | 0  | 0 | 1  | 0  | 1  | 7   |
| その他    | 0  | 0 | 0 | 0  | 0 | 0  | 0  | 0  | 0   |
| 合計     | 7  | 3 | 5 | 0  | 2 | 3  | 9  | 2  | 122 |

## 6. 愛知県内(市内除く)、近隣地区

|        | 愛知 | 岐阜 | 三重 | 静岡 | 長野 | 滋賀 | 合計 |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|
| 犬      | 5  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 5  |
| 猫      | 5  | 0  | 6  | 3  | 0  | 0  | 14 |
| 飼鳥     | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |
| 野鳥     | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |
| エキゾチック | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |
| その他    | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 1  |
| 合計     | 11 | 0  | 6  | 3  | 0  | 0  | 20 |

## 7. 遠隔地からの相談件数

|        | 北海道 | 青森 | 岩手 | 宮城 | 秋田 | 山形 | 福島 | 茨城 | 栃木 |
|--------|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 犬      | 0   | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |
| 猫      | 1   | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |
| 飼鳥     | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |
| 野鳥     | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |
| エキゾチック | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |
| その他    | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |
| 合計     | 1   | 0  | 2  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |

|        | 群馬 | 埼玉 | 千葉 | 東京 | 神奈川 | 山梨 | 新潟 | 富山 | 石川 |
|--------|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|
| 犬      | 0  | 0  | 0  | 4  | 2   | 2  | 2  | 0  | 0  |
| 猫      | 0  | 1  | 0  | 1  | 0   | 4  | 0  | 0  | 1  |
| 飼鳥     | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  |
| 野鳥     | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  |
| エキゾチック | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  |
| その他    | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  | 0  | 0  | 0  |
| 合計     | 0  | 1  | 0  | 5  | 2   | 6  | 2  | 0  | 1  |

|        | 福井 | 京都 | 大阪 | 兵庫 | 奈良 | 和歌山 | 鳥取 | 島根 | 岡山 |
|--------|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|
| 犬      | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  | 0  | 3  |
| 猫      | 0  | 0  | 9  | 6  | 1  | 2   | 0  | 0  | 0  |
| 飼鳥     | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 0   | 0  | 0  | 0  |
| 野鳥     | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  | 0  | 0  |
| エキゾチック | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  | 0  | 0  |
| その他    | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  | 0  | 0  |
| 合計     | 0  | 0  | 10 | 6  | 1  | 2   | 0  | 0  | 3  |

|        | 広島 | 山口 | 徳島 | 香川 | 愛媛 | 高知 | 福岡 | 佐賀 | 長崎 |
|--------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 犬      | 0  | 0  | 0  | 7  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |
| 猫      | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |
| 飼鳥     | 0  | 0  | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |
| 野鳥     | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |
| エキゾチック | 1  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |
| その他    | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |
| 合計     | 1  | 0  | 1  | 7  | 0  | 0  | 0  | 0  | 0  |

|        | 熊本 | 大分 | 宮崎 | 鹿児島 | 沖縄 | アジア | アメリカ | その他 | 合計 |
|--------|----|----|----|-----|----|-----|------|-----|----|
| 犬      | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  | 0   | 1    | 0   | 22 |
| 猫      | 0  | 1  | 0  | 0   | 0  | 0   | 0    | 0   | 28 |
| 飼鳥     | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  | 0   | 0    | 0   | 2  |
| 野鳥     | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  | 0   | 0    | 0   | 0  |
| エキゾチック | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  | 0   | 0    | 0   | 1  |
| その他    | 0  | 0  | 0  | 0   | 0  | 0   | 0    | 0   | 0  |
| 合計     | 0  | 1  | 0  | 0   | 0  | 0   | 1    | 0   | 53 |

## 8. 相談内容と内訳

|    | 治療相談 | 一般知識 | 避妊・去勢 | 伝染病予防 | 行政関係 | その他 | 合計  |
|----|------|------|-------|-------|------|-----|-----|
| 犬  | 63   | 9    | 2     | 3     | 0    | 4   | 81  |
| 猫  | 57   | 7    | 5     | 2     | 0    | 4   | 75  |
| 合計 | 120  | 16   | 7     | 5     | 0    | 8   | 156 |

## 9. 治療相談の内容と内訳

|    | 内 科 |      |    |       |       |     |      | 合計 |
|----|-----|------|----|-------|-------|-----|------|----|
|    | 消化  | 循環   | 呼吸 | 泌尿    | 生殖    | 眼   | 歯・口腔 |    |
| 犬  | 10  | 16   | 4  | 4     | 1     | 7   | 6    |    |
| 猫  | 9   | 3    | 5  | 18    | 2     | 2   | 4    |    |
| 合計 | 19  | 19   | 9  | 22    | 3     | 9   | 10   |    |
|    | 内 科 |      |    |       |       |     | 合計   |    |
|    | 耳鼻  | 皮膚・爪 | 神経 | 内部寄生虫 | 外部寄生虫 | その他 |      |    |
| 犬  | 0   | 8    | 3  | 1     | 0     | 15  | 75   |    |
| 猫  | 2   | 5    | 4  | 0     | 0     | 6   | 60   |    |
| 合計 | 2   | 13   | 7  | 1     | 0     | 21  | 135  |    |

|    | 外 科 |    |    |     | 合計 |
|----|-----|----|----|-----|----|
|    | 外傷  | 骨折 | 捻挫 | その他 |    |
| 犬  | 0   | 0  | 0  | 6   | 6  |
| 猫  | 2   | 1  | 0  | 1   | 4  |
| 合計 | 2   | 1  | 0  | 7   | 10 |

|    | 人獣共通伝染病 |     |     |     | 合計 |
|----|---------|-----|-----|-----|----|
|    | 皮膚真菌    | 狂犬病 | 微生物 | その他 |    |
| 犬  | 0       | 0   | 0   | 0   | 0  |
| 猫  | 1       | 0   | 0   | 0   | 1  |
| 合計 | 1       | 0   | 0   | 0   | 1  |

# 平成30年度 長寿猫飼主表彰式 長寿猫写真展

動物愛護事業委員会

長寿猫飼主表彰式は平成30年9月23日(日)動物フェスティバルで行われました。  
表彰飼主は52名、長寿猫は最高齢24歳を含め52頭でした。

## 【 長寿猫飼主表彰式 表彰状と記念品の授与 】



## 【 長寿猫写真展 】



## 【 表彰長寿猫 集計結果 (性別・年齢内訳) 】

| 年齢 | 20才 | 21才 | 22才 | 23才 | 24才 | 合計 |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| ♂  | 10  | 4   | 0   | 2   | 1   | 17 |
| ♀  | 29  | 4   | 2   | 0   | 0   | 35 |
| 合計 | 39  | 8   | 2   | 2   | 1   | 52 |

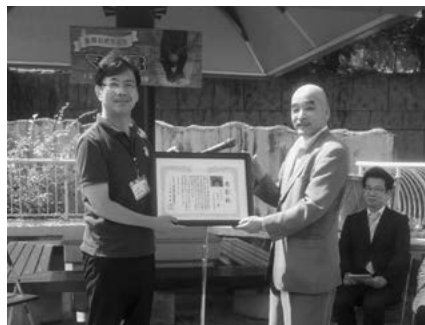


# 平成30年度 東山動物園の長寿動物への好物寄贈

動物愛護事業委員会

平成30年9月17日

東山動物園で「長寿動物を祝う会」が開かれました。それに合わせて今年も、上記のマレーグマ(名前マー君)に、長寿のお祝いとして好物のリンゴ200個オレンジ100個を寄贈しました。



## マレーグマ

*Helarctos malayanus*

- ・愛称 マー君
- ・性別 オス
- ・年齢 推定25歳
- ・生年月日 1993年生まれ(推定)
- ・来園日 1994年3月31日

## 一日の採食量

リンゴ4個、人参0.8kg、サツマイモ1kg、オレンジ2個、ゆで卵1個、白菜150g、クマ用ペレット200g(他におやつとして煮干、落花生、干しぶどうを少々)

## マレーグマについて

分類：食肉目クマ科、東南アジア(インド、ミャンマー、中国南部、マレーシア、インドネシア等)の森林地帯に生息しています。体長100～150cm、体重40～70kg(オス)、25～60kg(メス)とクマの仲間ではもっとも小さく、体色は黒色で胸にはオレンジ色のU字型模様があります。木登りが得意で、樹上で日光浴や休息をします。主に果実や木の実、昆虫や小動物を食べます。前肢の長い爪を使い、アリ塚や蜂の巣を壊したり樹皮を剥がしたりして、長い舌で中の昆虫や蜂蜜を食べます。

寿命は飼育下で約25年程度です。

IUCN(国際自然保護連合)のレッドリストではVU(絶滅危惧Ⅱ類)に分類され、ワシントン条約では附属書Ⅰに掲載されています。

## エピソード

マー君は中国で生まれ1994年3月31日に東山動植物園へ来園しました。当時の記録が無いので、詳しい出生地と生年月日は不明ですが、来園時の体重が20kgであったという記録があり、現在推定で25歳以上であると考えられます。国内最高齢ではありませんが、飼育下のマレーグマの平均寿命は20～25年といわれており、ご長寿動物といえます。

マー君はこれまでにメスの「マー子」との間に「マーヤ(メス、13歳)」、「マーサ(メス、10歳)」、「マーチン(オス、6歳)」、「マーネ(メス、3歳)」の4頭の子をもうけており、マーチン以外の子どもたちは他園に転出して東山動植物園にはいませんが、みんな元気に活躍中です。

高齢になり元気に動き回る姿は以前ほど見られなくなりましたが、まだまだ衰えた様子は見せず、食欲も変わらず旺盛で、元気に過ごしています。

片側の睪丸が大きく、精巣腫瘍である可能性も考えられますが、体調に変化が見られないことと高齢であることから、現在経過観察中です。



# 平成30年度 絵本寄贈

動物愛護事業委員会

平成30年8月9日(木)に寄贈

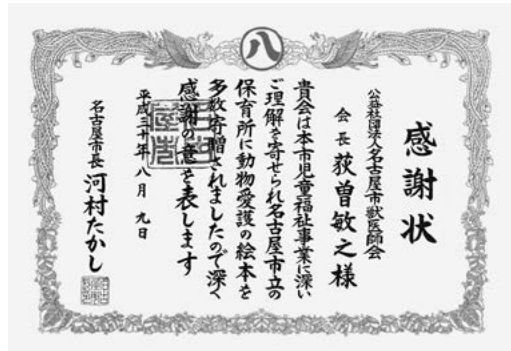
35年間継続寄贈しています

幼児期よりの「生命を尊重し豊かな心を育む」情操教育の一環として、名古屋市立幼保育園に今年度は14冊を一組にして10組、計140冊を寄贈しました。

毎年、名古屋市長に接見、会長より直接の手渡しを行っております。



寄贈の様子



## 寄贈図書

- とりのもようでかくれんぼ
- どうぶついろいろかくれんぼ
- 100万回生きたねこ
- ぐるんぱのようちえん
- だいすき ぎゅっぎゅっ
- はりねずみのおいしゃさん
- バルンくんとおたすけ3きょうだい
- できるかな？あたまからつまさきまで
- いちばんしあわせなおくりもの
- ちっちゃなおさかなさん
- たからもののあなた
- しろくまのパンツ
- わたしはだあれ？
- どうぞのいす



ぞう組(年長)の子どもたちは、担任に「どうぞのいす」を読んでもらいました。お話を楽しんだ後に、楽しかった場面をそれぞれ水性マーカーで描きました。獣医師会の方々から、頂いた絵本ということを理解している子どもたちは、感謝の気持ちを「ありがとう」の文字で記しました。



# 動物フェスティバル2018なごや

動物フェスティバル実行委員会

今年の動物フェスティバル2018なごやは、平成30年9月23日(日)に久屋大通公園エディオン久屋広場にて開催されました。天候にも恵まれ、多くの皆様にご来場頂きました。長寿猫の飼主や長寿犬の表彰、動物たちとのふれあいなど、大人から子供まで多くの皆様楽しんで頂けたことと思います。



| 行事                |  | 参加数              | 行事                             |  | 参加数              |
|-------------------|--|------------------|--------------------------------|--|------------------|
| フェスティバル参加者        |  | 25000人           | 介助犬体験・模範演技・体験<br>((社福)日本介助犬協会) |  | 600人<br>(体験100人) |
| 長寿犬表彰(表彰者数)       |  | 123人             | ボーイスカウトコーナー                    |  | 150人             |
| 長寿猫表彰(表彰者数)       |  | 52人              | ガールスカウトコーナー                    |  | 200人             |
| 譲渡ボランティア感謝状(贈呈者数) |  | 30人              | 健康相談<br>((公社)名古屋市獣医師会)         |  | 26人              |
| 動物愛護週間の図画募集(応募者数) |  | 688人             | マイクロチップ紹介<br>(株)共立製薬)          |  | 500人             |
| ボーイスカウト・ガールスカウト協力 |  | 91人              | のみものコーナー<br>((公社)名古屋市獣医師会)     |  | 300人             |
| 各コーナー・イベント        | 譲渡犬猫写真展<br>しつけ相談・動物愛護センター紹介<br>動物愛護クイズ&スタンプラリー<br>(名古屋市動物愛護センター) | 280人             | 乳牛クイズ・アイス販売<br>(名古屋市農業センター)    |  | 550人             |
|                   | ペットフード紹介<br>(日本ヒルズ・コルゲート(株)・ROYAL CANIN)                         | 500人             | 動物看護学院紹介<br>(名古屋動物看護学院)        |  | 500人             |
|                   | 動物缶バッジ・サンバイザー作り<br>動物クイズ・紙芝居<br>((公社)日本愛玩動物協会)                   | 1400人            | 保健センター事業紹介<br>(名古屋市食品衛生課・保健所)  |  | 300人             |
|                   | アニマルメイクアップ<br>(学校法人・専門学校名古屋モード学園)                                | 300人             | しつけトレーニング実演<br>(名古屋市動物愛護推進員)   |  | 700人             |
|                   | ワンちゃんふれあい<br>(南いちご動物園)   | 300人             | 動物愛護推進員コーナー<br>(名古屋市動物愛護推進員)   |  | 300人             |
|                   | ポニー馬車(南いちご動物園)   | 200人             | ネコのバス(保護猫譲渡会)                  |  | 105人             |
|                   | ふれあい動物園(南いちご動物園)   | 800人             | 保護猫ふれあいVR(疑似体験)                |  | 120人             |
|                   | 盲導犬紹介・模範演技・体験<br>((社福)中部盲導犬協会)                                   | 700人<br>(体験150人) |                                |  |                  |



## 平成29年度 公益社団法人名古屋市獣医師会 動物看護師認定試験

動物看護師認定委員会

平成29年度公益社団法人名古屋市獣医師会動物看護師認定試験を、平成30年3月3日に実施致しました。当会のホームページで広報しましたところ、名古屋動物看護学院の学生9名が受験されました。当会、動物看護師認定委員の監督のもと、動物看護に関わる筆記試験・筆頭試験を行い認定試験といたしますが、2月22日に行われた名古屋動物看護学院卒業試験の合格者は筆記試験を免除されました。受験した9名のうち動物看護師認定委員会を経て、9名全てが合格者として同日、当会理事会に報告され、動物看護師認定が承認されました。

## 平成30年度 名古屋動物看護学院 報告

動物看護師養成事業委員会

まず初めに日頃、名古屋動物看護学院の運営に際しまして、会員の先生方には、お忙しい中ご理解ご協力を頂き感謝しております。

平成23年に動物看護師統一認定機構が設立され、動物看護師の全国統一化のために資格認定試験が実施されるようになりました。また現在動物看護師の公的資格化に向けての動きもあり、その現状を踏まえ、当会が運営する名古屋動物看護学院はどのような立場で動物看護師を養成するかが現在課題となっております。

動物病院での動物看護師の需要と供給のバランスが取れているとは言い難い状況の中で、名古屋動物看護学院は、獣医師会が運営している強みを生かし、動物病院で真に必要とされる優秀な人材を育成し、他校にない特色のある教育をこれまで通り行って参ります。利益のみを追求せずに動物医療に貢献できる動物看護師養成ができると思います。

また、一人でも多くの臨床の現場で即戦力となる動物看護師を育てることで、動物病院運営に役立てられる事業としたいと考えています。

平成30年度は7名が当学院に入学し、6名が卒業予定となっております。全学生の就職が決まっています。また、平成31年度は11名の学生が入学予定です(平成30年2月現在)。会員の先生方だけでなく、近隣の獣医師の先生方にも授業や病院実習などのご協力を頂き、臨床に即した授業になるよう努力を重ねています。また、現職の動物看護師の皆様の卒後教育、キャリアアップに繋がるように、公開授業として特別授業を行っています。

この事業は会員の先生方からの推薦、名古屋動物看護学院学生募集のポスターの病院内での掲示や、各病院のホームページでの学院のリンクなど、先生方のご協力あって成り立っております。今後ともご理解とご協力の程よろしく願いいたします。

## 平成30年度 社会福祉法人 中部盲導犬協会への寄付

平成30年3月1日から平成31年2月28日までの会館野外自動販売機による寄附金合計金額は以下のようになっています。

〔 合計金額      ￥ 27,530 〕

## 平成30年度 交流会①

総務

平成30年5月27日名古屋市獣医師会定時総会の後、ローズコートホテルにて開催されました。名古屋市市議会議員 横井利明様、名古屋市市議会議員 藤田和秀様、名古屋市健康福祉局関係各所の方々等、多くの御来賓にお越しいただきました。

また賛助会員の企業の方々にも多くご参加いただき、盛大な交流会が催されました。



## 平成30年度 交流会②

福祉厚生委員会

2018年9月23日、動物フェスティバル終了後に会員交流会を兼ねて開催しました。今年は大崎先生のすばらしいサクソ演奏に魅了されました。協賛企業さんからはトランペットの一芸があり楽しく観覧しました。恒例のビンゴゲームは、アップルウォッチ、Googleホーム、アマゾンエコーなど今年はデジタル用品を景品に選びました。来年も多くの会員の方の参加をお待ちしています。



# ドアが開かない。

小島健治

小学校5年生の時の2月半ばの出来事と記憶しているのですが、当時放課後ちょくちょく遊んでいた同級生に竹越君(仮名)と土山君(仮名)という子がいました。竹越君は担任の先生から何かを問われても瞬時に答えられる程に頭の回転が速く口も達者な子でしたが、困ったことに変な遊びばかりを思い付いて、しかもよく考えることなくそれを実行に移してしまう暴走気味な子でした。「ブレーキの効かない危ない奴」という印象を私は持っていました。土山君は気分の変転の激しい子で、べたべた甘えてくっついてくるかと思えば、つんけんして取り付く島もない状態だったりして、今の言葉で言えばツンデレなのかもしれませんが、どう付き合わせたらよいのか悩んでしまう難儀な性格の子でした。

3人が遊んでいた公園の近くに、松永ビルという賃貸住宅がありましたが、老朽化したので建て替えることになり、それまで住んでいた住人を退去させて、誰も居ない状態になっていました。どこかでその話を耳にした竹越君が唐突に「松永ビルに探検に行こう。」と言い出して、私たち二人を引き連れて行きました。

通常ビルを取り壊す予定ならば、中に勝手に入ってこれないように入り口のドアを施錠するなり「立ち入り禁止」の紙を貼るなり、なんらかの処置を施すものだと思うのです。ところが、そのような処置は全くされていなくて自由に中に入れました。本当は、何らの処置が施されていない中に入ってはいけなかったのですけど。この時入らなければ、怖い思いせずに済んだのですけどね。

すでに電気は通っていないので電球や蛍光灯は灯っておらず、明かりと言えば外から差し込む太陽光だけで、ビル内は薄暗く、誰も居ない廊下はシンと静まり返っていました。廊下を歩いたり、開け放たれた窓から部屋を覗いたり(真っ暗で何も見えませんが)、階段を上ったりしているうちに屋上にたどり着きました。ビル内はただ暗くて埃っぽいだけで、面白そうなことは何もありませんでした。とりあえず屋上に出て外の空気を吸って、一休みすることになりました。

私は手提げ袋から持って来た菓子を取り出して、ポリポリ食べながら手すりに寄りかかって外の街並みを眺めていました。すると突然竹越君が「つままないからもう帰る。」と言い出しました。その時、屋上へ出るドアは外側(私たちの居る側)に向かって開け放たれていたのですが、そう言うやいなや竹越君は出口を跨いで屋内に消えて行きました。続けて土山君も竹越君の後を追って行ったのですが、何を考えていたのか、帰る際にパタン!とドアを閉めて行ったのです。余計なことをしてくれたものです。そしてそれが恐怖の始まりでした。

それまで外を眺めていた私は急いで菓子を袋に仕舞い、ドアに駆け寄って、ノブを回して手前に引っ張りました。ところがドアは開きません。「あれ?」一瞬変だなと思いましたが、すぐにピン!と来ました。「いたずらっ子の二人が、帰ったと見せかけて実はまだ居て、二人して内側からドアノブを引っ張って、ドアを開けられないようにいたずらをしているに違いない。」と思ったのです。「あの二人ならばそんな幼稚ないたずらをやりかねない。きっとそうに違いない。」私は確信を持ちました。「こうゆう時は、ムキになっちゃだめだ。こちらがムキになると面

白がますますドアを開けまいとするから。こんな時は相手にしないこと。しばらく放っておくのが一番の得策。そうすれば、直に飽きていたずらを止めるだろう。」と考えて、ドアから離れて、再び手すりにもたれて外の景色を眺め始めました。この時、気持ちの上ではまだ余裕がありました。

眺め始めてしばらくすると二人の声が下の方から聞こえてきました。急いで手すりから身を乗り出して路上を眺めると、二人が何やら話をしながら遠ざかって行く姿が目に入りました。ということは、二人が内側からノブを引っ張ってドアを開かないようにしているわけではないということになります。「それじゃあ、開くのか。」すぐにドアに近づいてノブを回して手前に引っ張ってみましたが、やはり開きませんでした。「ドアが開かないのは二人のいたずらのせいではなくて、ノブが故障しているせいなんだ！」この時になってやっと今自分が置かれている状況の深刻さが認識できました。「本当に屋上に締め出されたんだ！」次の瞬間脳裏に、激怒した母親の顔が浮かびました。私の言う恐怖とは、怒った母親の事です。「まずい！母ちゃんに叱られる!!」

冬場の日はすぐに沈んでしまいます。暗くなる前にこの屋上から脱出できなければ、ビルの関係者か近隣の住人か、どなたか親切な大人に助けられることになるでしょう。そうなれば当然学校や家に連絡が行くでしょう。下手すると親から警察署に捜索願が<sup>おおごと</sup>出されて、大それた末に助け出されることになるかもしれません。いづれにしても助けられた後、先生や親から「何でそんなところに居たのか？」とその理由を問い質された挙句、きつく叱られるに決まっています。絶望的な気持ちになりました。「なんということだ。最悪だ。なんとか自力でここから脱出しなければ！」もう気持ちに余裕などありません。ガチャ、ガチャ、ガチャ、ガチャ、ガチャ。ノブを回しては、手前に引っ張るという行為をひたすら続けました。

どれだけの回数ノブを回したのか、どれだけの時間が経過したのか覚えていませんが、必死になって続けていたところ、まるで何事もなかったかのようにスッとドアが開きました。「助かった！帰れる!!」すぐに屋内に入って、脇目もふらずに階段を駆け下りて、ビルの入り口から飛び出て、走って家に帰りました。

Uncontrollable 制御不能。何も考えずにぼさっと生きていると、時に自分の手には負えない、予想もしていなかったとんでもない事態に巻き込まれる事がある。その事をこの出来事から学んだような気がします。この時は運良くドアが開いてくれて自力で脱出でき、誰かに救出されるという事態は回避することが出来ましたが、再度このような事態に巻き込まれるのは嫌なので以後廃ビルや廃屋に近づいたことはありません。また、その先々身に降りかかる不幸をあらかじめ推測してから行動を取るという、人が生きていく上で大切な慎重さをこうした体験を通じて身に付けていったようにも思います。とは言うものの、その慎重さは今もって不完全でいかげんなものですが。

その後間もなくして松永ビルは建て替えられました。新しく建てられた松永ビルは今も存在していて、時々前を通りますが、このビルを見る度にあの時の思い出が蘇ります。

# 伝説の男

三 浦 隆

子供の時から家(瑞穂区)では猟犬が飼われていた。ある日、猿投山の猟師から譲り受けたばかりの犬が逃げて、猟師の家(約80km以上)に3日後に帰っていた。子供の時には頭のいい犬と思った。再び家に連れて帰った。今の道路交通事情では考えられない。

戦後で車が無い頃、父親がバイクの後ろに籠を付けて犬を乗せて猟に行っていた。猟銃の実砲も手作りで雷管、火薬、コルク、鉛の散弾、簡単な計量器、装弾器具、紙の装弾などは再生する。それを目にして手伝う事もある。一緒に行くことはないが猟期になると近隣の猟場に出かけていた。母親が獲物のキジで、味ごはんやすき焼きをして賞味した。

獣医になったのは動物が好きだったのか、何も考えていなかった。子供の時にフィラリヤ症で腹水になった犬と獣医師の仕事を見ていた、その影響かもしれない。後になってから思うと、北海道で大動物診療と酪農の夢があった。

学業も優秀でなかったが獣医大学に入学した。色々なサークルから勧誘があったが農学部は色々な学部の学生がいた。クラブは先輩のいた馬術が希望だったが、留年しないまじめな柔道部に入部。ところが運動部は上下関係があり。合宿などでは、たとえるなら先輩は神様で新人は奴隷である。在学2年生の頃に新幹線が開業して東京オリンピックが開催された。東京オリンピックではアルバイトに入場券の確保に動いた。卒業前の半年間は国家試験の準備にかかり合格した。

父親が獣医の国家試験に合格したので猟銃を買ってくれた。ここから狩猟が始まった。三重県、岐阜、愛知の山間部と広く活動した。その後、ゴルフ・ブームで土地の開発が進み、多くの猟場がゴルフ場が変わった。今は、その多くのゴルフ場でゴルフ・プレーしている。当時は自然環境が残っていて美しい小金色の赤山鳥、キジや沢山の生きものを見る事が出来た。

卒業後は県の職員として家畜の防疫(乳牛の結核、ブルセラ病巡回検査、鶏雛はくり、凍結精液保管と配布発送)に当たった。就職して直ぐに家畜伝染病ニューカッスル病が発生(小牧市の大規模養鶏場)して発生地から4km範囲で移動禁止になり、周辺地から農家一軒一軒予防注射(連続注射器で緊急輸入の不活化ワクチン)にて連日回った。今の鳥インフルエンザと同じことがあった。この後ニューカッスルは生ワクチンで飲水投与出来るようになった。

その頃、勤務の保健所に今でも名車と思う、いすゞ製のタマゴ型の車ベレット(Bellett)に乗って、飼料会社の営業マン故人駒田睦美氏が養鶏場担当で、ニューカッスル病のHI抗体の検査に養鶏場の採血した濾シを持って来るようになった。尾張地区でのニューカッスル病の発生後、保健所で抗体検査が出来る体制になった。大変面白い人で狩猟の話から親しくなった。

今、豚コレラで野生のイノシシが伝染の地域を広げているが、感染原が諸説ありでハッキリ分らないが、野性のイノシシから発生するのは初めてである。

過去に保健所に居た頃、渥美半島で豚コレラが発生して応援に行き、周辺の豚舎に予防注射に回った。家畜伝染病が発生するとその周囲の家畜が移動禁止になる。その時、西加茂の保健所からの応援の県職時代の故人堀宏充先生(2018年12月5日死去)を知る。純朴なまじめな先生であった。3日間衣食住を共にして豚コレラ不活化ワクチンを1頭1頭農家に注射に回った。



成豚は100～300kgも有り、バイオレット色のワクチンの液をガラス注射筒にゴム管と針を付け首筋に一瞬で打つ。危険も伴う大変な仕事であった。豚コレラの発生が無く2006年から豚コレラワクチンは日本では使用していない。堀先生の趣味は、鮎釣り、あまご釣りは本格的な釣り師であった。故郷の新城に農業の出来る田畑や山林を所有し、田植えや森の再生を開業後も続けていた。色々な木を植えるのがライフワークと云う。冥福を祈る。

中国ではアフリカ豚コレラが発生して大混乱という。数年前の宮崎県の口蹄疫など家畜伝染病の発生など検疫では細心の注意が必要だろうか。人的物流が多く地球が狭くなった。

駒田先生は、射撃が天才的な腕前で、個人で全日本3位に入ったこともある。愛知県の代表として団体優勝や、地方の色々な大会で数十年に渡り上位を占め、優勝回数や賞品も電化製品から家庭用品まで数知れず。銃砲、装弾メーカーの大会で優勝してアメリカまで射撃に行っている。また一時期に人気があったライセンスが不要のレーザー・クレイで優勝してオーストラリアまで行った。先生の影響か猟友会メンバー中には射撃レベル・マナーも、きじめんグループとして全国に知られている。きじめんとは名古屋の名物きしめんから来ている。私も一員であるがマナーは安全第一として射撃に励んでいる。きじめんグループの育った若い有力メンバーが未だに一線で活躍している。

駒田先生は若い時は養老山系で単独でいのしし猟をして、ライフル銃で捕獲している。鹿、イノシシや鳥獣が対象で山鳥、雉など撃ち、一度、三重県の猟場で偶然会ったことがあった。同じように赤山鳥を探していて、柴犬が愛犬であった。

過去に伊勢神宮の裏の鳥羽の有料猟区(当時)で3年越しに通い、沢の主の真っ赤に輝く赤山鳥(尾羽の節が12以上有る大物)を撃った話、それがトロフィーとして剥製になっている。

猟もハンターや猟犬と獲物の真剣勝負で、中々チャンスがなく普段は見逃すことが多いが狙った獲物は場数を重ね、一瞬のタイミングで決まる。毎年四国に遠征して四国原産の腰白山鳥を探しに行っていた。また、初猟のカモ撃ちでの獲物を獣医師会看護学校の教材にし、料理まで教えていた。教材の生きたウズラを学生にプレゼントし大変好評な鳥類の授業と聞いている。また、駒田氏の主催できじめんグループの射撃大会が毎年春と秋に開催された。獣医師会の射撃同好会クラブ会員も参加している。先生は愛知県猟友会のトップの射撃指導員としても活躍した。

初期の経済の成長期は、アラスカやアフリカの大型の狩猟情報が溢れていた時代でもあった。

射撃競技は、実猟的なフィールド競技で4種目を争う。一般的なトラップ、スキート射撃と違う。転がる皿を撃つラビット競技、スキートも左右と外に角度を付けて飛ぶ皿、2枚の皿が時間差で飛び出すダブルトラップ、10mのトラップ射撃など競技ルールが違う。

駒田先生は自然に造詣が深く、アユ釣り、鮎のころがし漁、投網漁などをし、この時も偶然に木曽川の川島で会った。産卵のため浅瀬に群れをなしたウグイのころがし漁を、一緒にしたことが有る。大量に捕獲して骨の多い魚の食べ方まで教えてくれた。学生時代は空手や、音楽ではギターが趣味で、私に鳥の剥製の作り方も教えてくれた。

そういえば初期の獣医師会の重鎮の中には銃ライセンスを所持して、当時は犬を飼っている人に狩猟家が多かった。今は野鳥を保護して治療して放鳥して助ける。一方では狩猟はスポーツ・



ハンティングで猟犬と野山を駆け巡る。

一度、誘われて内田橋(熱田区)の船宿から出航して伊勢湾で、獣医師会のM先生、同和化学に勤務していた故人森山弘氏と舟でカモ猟に行ったこともある。カモ猟の船で船頭も狩猟ライセンスを持っていて操船も慣れたものであった。

森山氏は同和化学の専属の獣医師だったが、自分で動物薬の会社を立ち上げて我々に必要な物を提供して業績をあげた。私と結婚時期が同じで彼はモルジブに新婚旅行に行った。お互いに仕事で、今でなくては行けない気持で奮発した。私はと云うと新婚旅行はハワイに行った。

色々と獣医師会のイベントに参加してくれた。彼は麻雀が強いと聞いている。森山氏も何があったのか不幸なことに晩年に自らの命をたった。

私が心配なのは、我々の業界も経済が上向いている時は良いが、下り坂になると真っ先に影響受けると思う。多すぎる開業医と動物愛護や医療の先進国になった。

高齢者や単身者など興味が生犬からアイボ(Aibo)の犬型ロボットに変わる。AIで学習成長し、オーナーの愛情を感じると、より愛情を返すなど絆を深めると云う。欠点はバッテリーが2時間とフローリングの床暖房で長時間使用出来ないなどあるが、世界中に販売すると云う。

オーストラリアでは、動物も治療困難な病気や終末医療は安楽死と云う動きである。

## 平成30年度 名古屋市獣医師会行事

|              |   |        |   |
|--------------|---|--------|---|
| 4月9日<br>～27日 | 狂犬病予防集合注射事業   | 10月17日 | 名獣JARMeCセミナー<br>演題：『緊急性の高い呼吸器疾患 ～咽頭・喉頭～』<br>講師：坂本 学 先生(日本動物高度医療センター名古屋 呼吸器科)  |
| 5月27日        | 名古屋市獣医師会 定時総会   | 11月1日  | 学術セミナー<br>演題：『認知症の診断と治療、犬猫の精神薬理学』<br>講師：入交 眞巳 先生(日本ヒルズ・コルゲート株式会社 獣医学術部)   |
| 5月27日        | 交流会：会場『ローズコートホテル』   | 11月21日 | 名獣JARMeCセミナー<br>演題：『緊急性の高い呼吸器疾患 ～気管・肺～』<br>講師：坂本 学 先生(日本動物高度医療センター名古屋 呼吸器科)   |
| 5月27日        | 名古屋市獣医師会学術セミナー<br>演題：『エキノコックスとは 条虫類の総論から』<br>講師：佐伯 英治 先生(サエキベテリナリー・サイエンス)                         | 1月20日  | 日本小動物獣医師会 学術講習会(名古屋市獣医師会担当)<br>演題：『麻酔管理の基本原則と疾患・手術別のポイント ～麻薬、メドミジン鎮静、局所麻酔を使いこなす！～』<br>講師：手島 健次 先生(日本大学 生物資源科学部附属動物病院 麻酔科) |
| 8月9日         | 動物優良図書絵本(14冊を10組)名古屋市立幼稚園に寄贈  | 3月22日  | 名古屋市獣医師会 臨時総会   |
| 9月17日        | 東山動物園のマレーグマ(推定25歳)名前：マー君に長寿のお祝いとしてリング100個、オレングジ200個を寄贈しました  | 3月22日  | 名古屋市獣医師会政治連盟 総会   |
| 9月23日        | 動物フェスティバル2018なごや(久屋大通公園)  |        |   |
| 9月23日        | 長寿猫飼主表彰式<br>・長寿猫飼主(52人)<br>・長寿猫(52頭 20～24歳 ♂17頭、♀35頭)<br>長寿猫写真展示                                  |        |   |
| 9月23日        | 交流会：会場『ドラゴンバンケット栄店』   |        |   |
| 9月26日        | 名古屋市獣医師会学術セミナー<br>演題：『コロナバクテリウム・ウルセランス感染症 -ジフテリア類似の人獣共通感染症-』<br>講師：山本 明彦 先生(国立感染症研究所 パイオセーフティ管理室) |        |   |

## 退会者報告

今年度はございませんでした。

## 物故者追悼

平成30年12月5日 堀 宏充先生がご逝去されました。謹んで心からお悔やみ申し上げます。

新発売

動物用医薬品 要指示 指定

# イベルガード®P チュアブル

美味しさへのこだわり(国産チキン・ポーク使用)

フィラリア症予防+犬回虫・犬鉤虫駆除効果

品質に配慮した国内製造

月1回美味しく食べて

心臓をガード



体重別  
投与量

犬に以下の通り本剤1錠を投与する

5.6 kg

11.3 kg

22.6 kg

45.3 kg

34

68

136

272

イベルガード®Pチュアブル



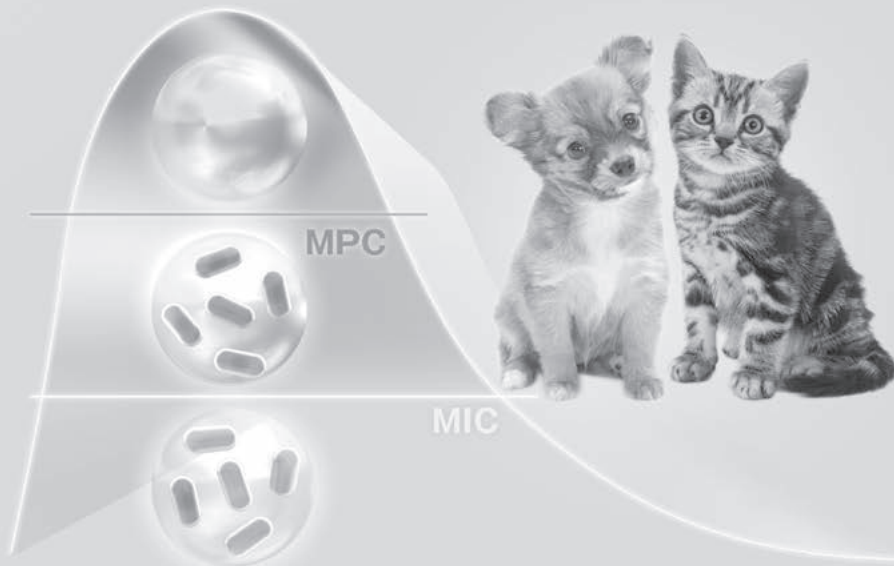
製造販売業者

**共立製薬株式会社**  
東京都千代田区九段南 1-5-10

お問い合わせ先: TEL 03-3264-7556(学術)

# 強く、広く、優しく。

PK/PD理論による耐性化抑制へのアプローチ!



動物用医薬品 (指定・要指示) 犬・猫用フルオロキノロン系抗菌剤

## VICTAS<sup>®</sup> ビクタス<sup>®</sup>S の特長

### I 広い抗菌スペクトラムと広い適応症

グラム陽性菌・陰性菌およびマイコプラズマの広範囲の菌種に強い抗菌力を示します。また、ビクタスSS錠は犬において4つの適応症を有しています。

### II 抗生物質耐性菌にも有効

アンピシリン、テトラサイクリン、カナマイシンなどの抗生物質に対する耐性菌にも抗菌力を示します。

### III 幼若犬(4ヵ月齢以上)にも使用可能

幼若犬(4ヵ月齢以上)の関節に異常所見を示さないため、幼若犬(4ヵ月齢以上)への使用が可能です。

### IV 猫にも犬と同じ用量で使用可能

猫と犬における安全性試験及び臨床試験の結果から、猫にも犬と同じ最高用量(5.0mg/kg)で使用可能です。

### V 腸内細菌叢に優しい

犬・猫の腸内細菌叢を構成する(偏性)嫌気性菌に対する抗菌力が比較的弱いため、腸内菌叢を乱しにくいと考えられます。

### VI 投与しやすい製剤

錠剤はサイズが小さく、注射剤は注射量(0.1mL/体重1kg)が少ない。



製造販売元 DSファーマアニマルヘルス株式会社

〒541-0053 大阪市中央区本町2-5-7 <https://animal.ds-pharma.co.jp>

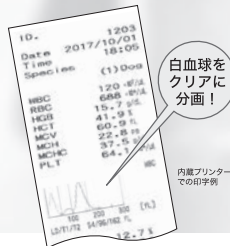
# 選べる“ポチ”



## pocH-100iVシリーズが「もっと使いやすく」を実現しました。

診療目的にあわせた2種類の“ポチ”は、タッチパネルによる簡単操作で豊富な臨床データに裏づけされた信頼性の高い検査を実現します。

- 簡単** 測定はサンプルを全血のままセットして、モニタ画面の上のスタートボタンにタッチするだけ。また、洗浄も自動的に実施します。
- 高性能** 独自開発の試薬により白血球を分離します。また、白血球が多い動物血測定に効果を発揮するシースフロー方式を採用しています。
- 安心** 試薬にシアンを含まないヘモグロビン測定法の採用で、試薬の管理も安心です。



コンパクトなボディはほぼA3サイズのスペースに入ります。

### 動物用 多項目自動血球計数装置 pocH-100iV Diff / pocH-100iV

動物用医療機器承認番号：25588薬器322号 動物用医療機器承認番号：15前安第1678号

| 項目    | 検査項目  |
|-------|---|
| イタ    | WBC, RBC, HGB, HCT, MCV, MCH, MCHC, PLT, LYM%, EO%, OTHR%, LYMn, EO%, OTHRn, RDW-SD, RDW-CV, PDW, MPV, PLCR         |
| ネコ    | WBC, RBC, HGB, HCT, MCV, MCH, MCHC, PLT, LYM%, EO%, OTHR%, LYMn, EO%, OTHRn, RDW-SD, RDW-CV                         |
| ウシ・ウマ | WBC, RBC, HGB, HCT, MCV, MCH, MCHC, PLT, LYM%, OTHR%, LYMn, EO%, OTHRn, RDW-SD, RDW-CV, PDW, MPV, PLCR              |
| 研究用項目 | other WBC, RBC, HGB, HCT, MCV, MCH, MCHC, PLT, RDW-SD, RDW-CV, PDW, MPV, PLCR, WLMCR, WMCR, WSCR, WLMCC, WMCC, WSSC |

\*pocH-100iV Diffの項目表となります。  
\*電圧別検出方法の白血球の検出条件として採用しています。特に本項においては赤血球と血小板の検出が容易な場合があるため度分布異常アラート(リアアラート)が表示される場合があります。

●パンフレット、資料は下記にご請求ください。

販売元  
**シスメックスTMC株式会社**  
神戸市東区室谷1-3-2 〒651-2241  
TEL078-992-6921 Fax 078-992-6922  
www.sysmex-tmc.co.jp

製造販売元  
**シスメックス株式会社**  
本社 神戸市中央区築港1-5-1 〒651-0073  
B棟受付課 TEL078-5434-9565  
www.sysmex.co.jp



※ 国産品のみ  
※ 国産品のみ  
※ 国産品のみ  
※ 国産品のみ

小动物臨床獣医学サイト  検索  
**PowerVets** のご案内 [www.power-vets.jp](http://www.power-vets.jp)

# 動物病院の設計・開業コンサルティング

## 動物病院の新築・リフォーム

専門の設計事務所として、多くの動物病院に携わった知識と経験でお客様の希望をかなえます。

### ①動物病院の設計・監理

デザインを重視して「はやる病院」「使いやすい病院」「近隣から苦情の出ない病院」を提案。建物プランニング、設計、予算管理、入札、見積書や施工図のチェック・検査等の工事監理。

### ②開業コンサルティング

開業資金調達を調査します。立地調査・売上予測、開業計画書、事業計画書の作成。将来がイメージできる「堅実な経営」の指導。節税提案、雇用契約から保険までアドバイス。HP作成、広告宣伝、税理士、社会保険労務士の紹介。

### ③不動産（賃貸、売買）の仲介

当社グループ不動産会社が全国の不動産を仲介します。30年間に渡る豊富な経験に基づき、不動産の売買・賃貸の仲介を安全に行います。不動産価格や、家賃の値引き交渉も行います。不動産売買・賃貸仲介は正規料金の3割引きです。譲渡者が決まっている場合は仲介手数料半額。

### ④事業承継・動物病院の売買

自社グループ内で売買の評価が行えるためローコストで譲渡できます。譲渡者、譲受者の相談、募集等、事業承継業務を行います。譲渡シミュレーションの作成・事業価値、不動産評価の算定、事業譲渡手続きに伴う不動産売買を行います。譲渡者が決まっている場合の不動産の第三者評価を行います。

### ⑤経営コンサルティング

成功事例発表や机上の理論ではなく、グループ企業を全て黒字にした経営者が実践に基づいた知識で経営コンサルティングを行います。毎年10億前後の資金調達をお手伝いしている代表取締役 渡辺 毅がお客様に労働問題から節税、資産形成、相続の前後相談、リタイアの着地点、退職金、相続税を含めたアドバイスを行います。無駄な費用のかからない短期契約で指導します。





一級建築士事務所  
株式会社 TAC設計室 TEL 052-932-1156  
名古屋市中区岡井 3-17-5


# 動物たちの健康を、 技術と品質で支えていく


動物たちの健康を支える各種製品をラインナップしています。





 日生研ニューカッスル生ワクチンS  
 ガルエヌテクトS95-IB  
 日生研C-78・IB生ワクチン  
 日生研MI・IB生ワクチン  
 日生研NB生ワクチン  
 日生研ILT生ワクチン  
 日生研IBD生ワクチン  
 日生研穿刺用鶏痘ワクチン  
 日生研乾燥鶏痘ワクチン  
 AE乾燥生ワクチン  
 ガルエヌテクトCBL  
 日生研鶏コクシ弱毒3価生ワクチン(TAM)  
 日生研鶏コクシ弱毒生ワクチン(Neca)  
 日生研EDS不活化ワクチン  
 日生研EDS不活化オイルワクチン  
 日生研MG不活化ワクチンN  
 日生研コリーザ2価ワクチンN  
 日生研ACM不活化ワクチン  
 日生研NBBAC不活化ワクチン

 日生研日本脳炎生ワクチン  
 日生研日本脳炎TC不活化ワクチン  
 日生研PED生ワクチン  
 日生研TGE・PED混合生ワクチン  
 日生研豚丹毒生ワクチンC  
 日生研豚丹毒不活化ワクチン  
 日生研AR混合ワクチンBP  
 日生研ARBP混合不活化ワクチンME  
 日生研ARBP・豚丹毒混合不活化ワクチン  
 日生研グレーサー病2価ワクチン  
 日生研豚APワクチン125RX  
 スワインテクトAPX-ME  
 日生研MPS不活化ワクチン  
 日生研豚APM不活化ワクチン

 アカバネ病生ワクチン「日生研」  
 日生研牛異常産3種混合不活化ワクチン

 日生研日本脳炎TC不活化ワクチン  
 エクエヌテクトFLU  
 馬鼻肺炎不活化ワクチン「日生研」  
 エクエヌテクトERP  
 日生研日脳・馬ゲタ混合不活化ワクチン  
 エクエヌテクトJIT  
 日生研馬口タウウイルス病不活化ワクチン  
 破傷風トキソイド「日生研」

 日生研狂犬病TCワクチン  
 (共立製薬株式会社販売です。)

 オーシャンテクトVNN



日生研株式会社

〒198-0024 東京都青梅市新町 9-2221-1  
<http://www.jp-nisseiken.co.jp>  
**Tel: 0428-33-1009**



動物を守り、人を支える  
ワクチンの京都微研

 **KYOTOBIKEN**

株式会社微生物化学研究所  
 〒611-0041 京都府宇治市横島町24、16  
 電話：0774-22-4519 Fax：0774-22-4568

明日の医療と健康を  
支えるチカラ

医療用医薬品、臨床検査用試薬、動物用医薬品、医療機器、  
ワクチン、衛生材料、血清、等の総合卸販売



[本社/金沢支店] 〒920-0295 石川県金沢市大浦町ハ55番地 TEL 076(239)0032 FAX 076(239)0092  
[名古屋支店] 〒465-0092 愛知県名古屋市中東区社台3丁目179番地 TEL 052(774)2638 FAX 052(774)2940  
[支店] 小松支店・七尾支店・富山支店・高岡支店・黒部支店・福井支店・敦賀支店  
[営業所] 高山営業所・富山営業所・金沢営業所・新潟営業所・三重営業所・豊橋営業所

**FUJIFILM**  
Value from Innovation

ペットの臨床検査から  
動物医療の未来を切り拓く



私たちは、人々の豊かな生活のために、  
動物の臨床検査を中心としたサービスを通じて、  
ペットの健康に貢献します。

春の  
**健康診断  
受付中!**

受託期間

2019年 2月1日 ~ 2019年 8月31日

2019年2月より富士フイルムグループは  
参考基準範囲を共用化します。

富士フイルムモノリス  
の外注検査と、富士ド  
ライケムをご使用の院  
内検査の結果が、同じ  
基準で評価する事が可  
能となります。検査値の  
相互比較や経時的変  
化の観察がスムーズに  
なります。



TOPICS 1 参考基準範囲の「共用化」。

TOPICS 2 血糖コントロールマーカークのフルクトサミンの受託開始。

**富士フイルムモノリス株式会社**



# 名古屋ペット霊園

主宰 宝泉寺



◆ 葬式・火葬・供養を承ります。  
◆ 病院までお引取に伺います。

〒468-0058 愛知県名古屋市天白区植田西 3-811  
TEL : 052-806-0194 HP : <http://hoson-ji.jp>

◆ 電話対応時間 7:00~21:00 ◆  
◆ 開門受入時間 10:00~17:30 ◆

# 慈妙院 動物霊園

35年の伝統と信頼



〒487-0021 愛知県春日井市東神明町 479  
TEL : 0568-51-1059 HP : <http://www.jimyoin.or.jp>

## 一つの尊い命


ひと昔前、ペットの命はとても軽く見られ、お経をあげてもらおうこともなく土に埋められたり、ゴミとして処理されることが一般的でした。しかし最近では、ペットを一つの尊い命家族の一員としてとらえ、葬儀も人間と何ら変わらないものを望まれる方が増えてきています。

同じように、生ある間、愛しい子に少しでも永く幸せな生涯を送って欲しいと望んでいます。当山ではペットを亡くされた際には、「死亡診断書」をかかりつけの先生にお願いし、一つの尊い命として、人間同様の扱いをしてもらえるように努めております。

また、ペットの地位向上の為、賛同して下さる先生方の病院を 当山にてご紹介もしています。

一つの大切な命として親身に対応して下さる良い先生方と出会い、その子の生涯を、一緒にサポートしていきたいと、当山は考えております。

あなたの手で愛する子を幸せへと導いてあげませんか。

総本山  **長楽寺動物霊園** ☎052-811-6036

〒457-0014 名古屋市南区呼続 4-13-18 <http://www.chourakuji.org>

瞳は未来を見つめてる。



動物用医薬品 製造販売

 **日本全薬工業株式会社**

福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

株式会社 **アスコ**  
 http://www.asco.co.jp  
 国内広域展開の動物用医薬品ディーラー  
 人と動物の健やかな共生環境づくりに貢献します

**本社**  
 〒441-8021  
 愛知県豊橋市白塚町100番地  
 TEL 0532-34-3821  
 FAX 0532-33-3611

**支店**  
 ・東日本支店  
 埼玉、群馬、栃木、茨城、群馬、栃木  
 茨城、大宮、宇都宮、東京  
 ・中日本支店  
 静岡、愛媛、浜松、沼津、岐阜、名古屋  
 ・西日本支店  
 広島、岡山、山口、米子、岡山  
 大分、京都



ASCO



- 動物用医薬品
- 動物用フード
- 各種医療機器
- 院内消耗品
- オリジナル輸入製品
- プレミアム・フード「フリント・リバー・ランチ」
- 国内外メーカーのクリニック推奨品 各種


ペットと人との健康で豊かな未来に貢献いたします

## 同和化学株式会社

**本社** 〒462-0005 名古屋市長区池花町300番地  
 TEL 052-901-3101 FAX 052-901-3104

**岐阜支店** 〒500-8302 岐阜市本郷町5-9  
 TEL 058-253-6106 FAX 058-253-6219

医薬品・動物薬品・検査機器  
 医療のトリプルメリットを追求する

 **中北薬品株式会社**

松軒支店 (052) 935-4636  
 豊橋支店 (0532) 54-9151  
 岡崎支店 (0564) 21-7211

動物病院 設計設備

 **有限会社 メディカル技研**

〒487-0034  
 愛知県春日井市白山町3-19-15  
 TEL (0568) 52-0138  
<http://www.medical-giken.com>

## 編集後記

昨年、夏ごろより発生している豚コレラは現在も猛威を振るい、未だに収束する気配もなく中部地区を中心に拡大し続けています。関係者各位のご心労いかばかりかご推察申し上げます。心よりお見舞い申し上げます。そして一刻も早く収束することを願っております。

今年5月1日より新しい元号となります。平成も終わり新たな元号となる今年、昭和生まれと聞くと時代を感じてしまうのは私だけでしょうか。

なかなか明るい話題がない中で、少し明るい話題といえば、昨年中日ドラゴンズに加入した平成の怪物‘松阪大輔投手’が見事に復活し、また昨年のドラフトで高校生ナンバーワン野手といわれる根尾昂選手を見事獲得し、今年の春の沖縄キャンプでは大勢のファンが押しかけ、ここ最近人気低迷している中日ドラゴンズにとってはうれしい話題となっています。今シーズンはリーグ優勝、さらに悲願である日本シリーズに優勝し、地元名古屋を盛り上げてほしいです。

最後になりましたが、本会誌を作成するに当たり多くの先生に原稿をお書きいただきました。事務局の方には多くの資料をご用意いただきました。また、会誌委員の方には原稿集めや校正をしていただきました。皆様が会誌の趣旨をご理解いただき、お忙しい中でも快くお引き受けいただきました事に深く感謝致します。ありがとうございました。

会誌委員会 担当理事 菅沼 英人

## あゆみ Vol.54

---

発行日 2019年3月22日

発行 公益社団法人 名古屋市獣医師会  
名古屋市中区大須4丁目12番21号  
TEL：052-263-0700  
FAX：052-264-9381  
<http://www.nagoyavet.jp/>

会誌委員会 委員長 菅沼英人  
浅井悠平 伊藤広孝  
小島健治 小島健太郎  
児玉順子 夏目里枝子  
鈴木克弥 保田恭志

印刷 株式会社ワコーヴィスコム  
名古屋市中区木津根町61番地  
TEL：052-915-0681  
FAX：052-915-0671

# 獣医師の皆さまとご家族に 大きな安心を!!

公益社団法人日本獣医師会  
獣医師福祉共済事業



獣医師の皆さまを取り巻く様々なリスクの備えに

## 「獣医師会のほけん」

一家の大黒柱の獣医師ご本人が病気やケガで働けなくなったら・・・

ご本人やご家族が病気やケガで入院や通院をされたら・・・

動物病院の従業員の皆さまがお仕事中にケガをされたら・・・

動物病院の什器・備品・医療機器が偶然な事故で損害を被ったら・・・

### 団体割引20% 病気やケガに備える

| 所得補償保険  | 団体長期障害所得補償保険  | 新・団体医療保険 <sup>*1</sup>  | 傷害総合保険                       | 動物病院従業員補償傷害総合保険 <sup>*2</sup>     |
|---|---|---|------------------------------|-----------------------------------|
| ご本人やご家族(就業者)が病気やケガで働けなくなったときの補償<br>(入院は初日から最長369日<br>自宅療養は支払対象外期間4日<br>の後最長1年間補償) | ご本人やご家族(就業者)が長期に渡り、病気やケガで働けなくなったときの補償<br>(支払対象外期間369日の後<br>最長70歳まで補償) | ご本人やご家族が病気やケガにより入院・通院・手術したときの補償   | ご本人やご家族がケガにより入院・通院・手術したときの補償 | 動物病院の従業員が仕事中にケガをして入院・通院・手術したときの補償 |
|   |   | <small>*1 医療保険基本特約、疾病保険特約、傷害保険特約、がん保険特約セット団体総合保険<br/>*2 就業中のみの危険補償特約セット傷害総合保険</small> |                              |                                   |

### 動物病院の「什器・備品・医療機器」の損害に備える

| 動物病院<br>「什器・備品・医療機器」総合補償<br>(テナント総合保険) | 下記損害に関する補償がセットされています。  |
|--|--|
|  | ①火災・爆発・風災・盗難・破損等の「偶然な事故」による動物病院の動産(設備・什器・備品等)の損害<br>②火災・爆発・風災・水災などの事故による動物病院やユーティリティ設備の損害による動物病院の休業損害<br>③火災・爆発・破損などが原因で建物オーナーに対して負担する賠償責任<br>(③は借用店舗の場合に補償対象となります。) |

日本獣医師会福祉共済事業各保険の資料は下記幹事代理店までご請求ください。  
なお、携帯電話からもご請求いただけます。右のQRコードからアクセスしてください。



### 保険契約者 公益社団法人 日本獣医師会

このご案内は概要です。詳しい内容につきましてはパンフレットをご請求いただき、取扱代理店または損保ジャパン日本興亜営業店までお問い合わせください。

#### 問い合わせ先

幹事代理店 **株式会社安田システムサービス**  
〒163-1529 東京都新宿区西新宿1-6-1 新宿エルタワー29F  
TEL:03(3340)6497 FAX:03(3340)5700  
受付時間 9:00~17:30(土・日・祝休)

引受保険会社 **損害保険ジャパン日本興亜株式会社**  
団体・公務開発部第二課  
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1  
TEL:03-3349-5402 FAX:03-6388-0161  
受付時間 9:00~17:00(土・日・祝休)